

# 生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績	③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由
1	1	1	I学べる	学習活動のきっかけづくり	①普及、啓発事業の実施	1-1-1-1-01	文化イベント広報リーフレットの配布	文化振興課	さいたま市内で活動する文化芸術団体が、10～11月に開催する事業を「さいたま市民文化祭」参加事業として位置付け、その他市関連事業も掲載した文化イベント広報リーフレットを作成し、市内公共施設に配布し、参加事業のPRを行った。	さいたま市内で活動する文化芸術団体が、10～11月に開催する事業を「さいたま市民文化祭」参加事業として位置付け、その他市関連事業も掲載した文化イベント広報リーフレットを作成し、市内公共施設に配布し、参加事業のPRを行う。	A: 達成された(85%以上)	配布箇所数が目標値に達したため。	F: 廃止・休止	事業見直しのため
2	2					1-1-1-1-02	図書館利用の普及とPR及び情報発信の強化	図書館	全ての市民に開かれた施設として、図書館への関心を高め利用を促す。図書館サービスについての情報を多方面に向けて積極的に発信し、図書館を利用したことがない人にもサービス内容を知らせるようPRを強化する。	図書館ホームページや発行物を通じて広報に努めた。市内すべての幼稚園で利用案内を配布しPRを行った。	A: 達成された(85%以上)	目標値の98%を達成したため。	B: 現状維持	図書館のサービスや催し物についての記者への情報提供を定期的に行い、図書館を利用したことのない市民にも情報が届くようにする。(リフレッシュ計画で、地区館1館が休館するため)
3	3					1-1-1-2-01	生涯学習情報の提供・生涯学習相談の充実	生涯学習振興課、生涯学習総合センター・公民館	生涯学習に関する情報を求める市民に対し、一人ひとりのニーズに応じた幅広い情報提供を行うことができるよう、学習情報の提供及び学習相談機能の充実に努める。	平成26年度から30年度にかけて、生涯学習相談ボランティアとの協働による生涯学習相談を、生涯学習総合センターにて月2回実施するとともに、会場まで来館できない市民へも相談の機会を設けるため、生涯学習総合センター以外の場所を会場とした出張相談会を年度2回行い、市民一人ひとりのニーズに応じた学習情報提供を行ってきた。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	生涯学習相談ボランティアによる生涯学習相談事業を実施する。さらにボランティアの資質向上のため研修などを行う。また公民館報、チラシ・ポスター、生涯学習情報システムなどを活用し、さまざまな学習情報の提供を今後も行っていくためBとした。
4	4					1-1-1-2-02	学習相談員等の育成	生涯学習振興課	市民の学習相談に対する的確に対応する能力等を向上させるため、人材を育成する。	学習相談については、生涯学習情報誌「まなベル」や生涯学習情報システムなどを活用して対応した。人材の育成については、社会教育主事講習に参加した。	A: 達成された(85%以上)	昨年度に続き、社会教育主事として必要な知識又は技能を習得するため、社会教育主事講習に参加した。	B: 現状維持	引き続き、社会教育主事講習への参加を呼びかけていきます。
5	5					1-1-1-2-03	職員研修の充実	生涯学習総合センター・公民館	政令指定都市の公民館及び社会教育・生涯学習を取り巻く状況が変化している中、公民館職員として、公民館及び社会教育・生涯学習の今日的課題に対する理解を図り、職務遂行上必要な知識を習得することを目的に職員研修の充実を図る。	生涯学習総合センターにおいて、初任期研修(新任職員研修、2年次職員研修)、役割別研修(公民館長研修、常勤・再任用職員にコンプライアンス研修、危機管理・生涯学習行政研修、防災研修、社会教育指導員研修)、課題別研修(学習情報提供・生涯学習相談、ホスピタリティ、応急手当・AED操作、公民館事業の作り方、親の学習ファシリテーター養成、親の学習担当者、著作権、監に関する事業)を実施した。併せて、各区公民館において、区内公民館の課題に対応する研修を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	公民館職員として、公民館及び社会教育・生涯学習の今日的課題に対する理解を図り、職務遂行上必要な知識を習得することを目的に今後も職員研修を行っていくためBとした。
6	6					1-1-1-2-04	幅広く計画的な資料の収集・保存	図書館	市民の多様な要求に応えられる幅広い蔵書を構築するため、効果的で計画的な資料収集・保存を行う。新しいメディアについても研究する。	幅広く計画的な資料の収集・保存を行い、ほぼ数値目標に及ぶタイトル数の図書を所蔵することができた。また平成30年度は電子書籍を2,807タイトル購入した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標には届かなかったが、85%以上達したため。	B: 現状維持	資料費が大幅に削減されたため、寄贈資料の受入等を増やしても電子書籍を含む購入タイトル数の増加が見込めないため。
7	7					1-1-1-2-05	・親しみやすい図書館づくり ・職員の資質・能力の向上 ・専門的職員の配置	図書館	さいたま市図書館ネットワークを活用したサービスを展開するとともに、市民の要求に的確に応えるため、図書館職員の資質・能力の向上を図る。	レファレンス、パスファインダー、児童サービス等、図書館業務に関わる研修の他、政策、著作権、人権教育、接遇等の内部研修を実施した。また、文部科学省や日本図書館協会等が主催する外部研修に職員を派遣した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の115回を上回ったため、Aとした。	B: 現状維持	幅広い内容の研修を行い業務に必要な知識を習得するため。
8	8				1-1-2-1-01	①生涯学習情報システムの機能拡充	生涯学習振興課	市民一人ひとりができるだけ自分に合った形で学んでいけるよう、インターネットで講座・イベントや団体・サークルの情報など多様な学習情報を提供する生涯学習情報システムの機能の充実を図る。	生涯学習情報システムについて、主に公民館の職員に対する研修の機会を利用し、情報提供の強化を呼びかけ、トップページへのお知らせを増やすなど市民への情報提供を充実させた。	A: 達成された(85%以上)	入力講座数が目標を達成したため。	B: 現状維持	引き続き、関係各課所へ、システムの周知を図るとともに、操作方法の周知も図る。	
9	9				1-1-2-2-01	②生涯学習情報誌や各種パンフレット等の発行	生涯学習振興課	さいたま市の公共施設などで開催を予定しているさまざまな講座やイベント情報を掲載した生涯学習情報誌「まなベル」を発行する。	・平成30年度後期号掲載数:917件 ・平成31年度前期号掲載数:1,146件 ※合計掲載数:2,063件 ※各6,000部ほど発行し、市内公民館・図書館・区役所情報公開コーナーなどに配布した。	A: 達成された(85%以上)	公民館のほか、コミュニティセンターなどからも情報を収集し、幅広い情報を掲載することができた。	B: 現状維持	紙媒体での情報提供については、依然として市民ニーズも高く、引き続きより幅広い情報掲載に努めていく。	
10	10				1-1-2-3-01	③生涯学習情報に関する発信力の強化	消費生活総合センター	その時々消費者トラブルの注意喚起特集や講座開催情報を掲載した情報紙の発行をはじめ、ラジオ、ホームページなど様々なメディアを活用し、市民一人一人が自分にあった方法で学べるよう情報を発信する。	消費生活情報誌を年4回発行、年12回ラジオ放送、ホームページでは57件の消費生活に関する注意喚起等の情報発信を行った。	A: 達成された(85%以上)	消費者トラブルは、日々変化しており多種多様化しているが、情報誌や毎月のラジオ放送、ホームページの更新により、タイムリーな話題を取り上げた注意喚起を行い、目標を上回る情報発信ができたため。	B: 現状維持	消費者被害の未然防止、注意喚起を行うため、情報誌やラジオ、ホームページなど様々な手段で情報発信を行う必要があるため。	
11	11				1-1-2-3-02	ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実	図書館	図書館ホームページを充実させ、情報提供サービスの利便性を向上させる。また、データベースの利用技術の講習などを行い、市民の情報収集能力の向上を図る。	・各館のテーマ資料展示の様子や、ブックリストをホームページに掲載した。 ・国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標値の92%に達したため、Aとした。	B: 現状維持	継続して幅広い情報提供の機会を提供するため。(平成30年度9月より無線LANの提供が「さいたま市図書館公衆無線LAN」から「Saitama City Free Wi-Fi」に変更になったため評価指標を図書館で提供している「インターネットの延利用人数」に変更した。)	

# 生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
12	12				1-2-1-1-01	さいたま市出前講座	広報課	職員が市民等の集会、会合等に出向いて、市の施策、制度、事業等について説明する。	出前講座のテーマの見直しを実施するとともに、開催期間を1か月拡大した。また、各種広報媒体で周知を行った。政令指定都市への調査も実施し、各都市の取組状況を把握した。	A: 達成された(85%以上)	出前講座の開催期間を拡大するとともに、各広報媒体での出前講座の周知を行ったことにより、目標を上回る数値実績を達成したため	A: 拡大・充実	市職員が直接集会・会合等に出向き、説明を行うことが、市民・事業者の理解を深めることにつながると考えられ、更なる参加者拡大を図る必要があるため		
13	13				1-2-1-1-02	平和事業の推進	総務課	戦争の悲惨さやおろかさ、平和の尊さや大切さを後世に伝えていくため、「さいたま市平和展」を開催する。また、「さいたま市平和図画・ポスターコンクール」を開催し、市内小・中学生に平和への思いを自由に表現してもらうことにより、子ども達の平和への関心を高めていく。	(1)戦争の悲惨さやおろかさ、平和の尊さや大切さを後世に伝える取組として、さいたま市平和展を開催し、戦争体験者等の証言映像上映や長崎原爆資料館の原爆パネル、広島平和記念資料館の写真パネルの展示等を行った。 (2)さいたま市立の小・中学校の児童・生徒を対象に「平和」をテーマとした図画・ポスターコンクールを行い、783点の応募作品の中から入賞作品を選考し、平和展会場にて展示を行った。	A: 達成された(85%以上)	いずれも目標値に対し85%以上の達成率となったため。	A: 拡大・充実	特に若い世代への戦争の記憶の継承に力を入れる必要があることから、平和展および平和図画・ポスターコンクールの内容を充実させる必要があるため		
14	14			①市民ニーズ・現代的課題への対応	1-2-1-1-03	公民館水道講座	水道総務課	一般市民を対象に水道局職員が公民館へ出向き、さいたま市の水道、ムダな水をなくす工夫、水環境、簡単な漏水発見、防災対策、悪質な訪問販売などの講話を、パワーポイントを使用して講義を行う。	6/15 鈴谷公民館 35人 1/29 南箇公民館 20人	D: 達成されていない(50%未満)	講座を実施した公民館数が、年間目標である4館程度を下回り、目標に対する実績の達成率では達成度が約45%にとどまった。	B: 現状維持	目標数値を下回ったが、例年受講希望があるため、引き続き魅力ある講座の開設に努めていく。		
15	15				1-2-1-1-04	さいたま市民大学	生涯学習総合センター	市民大学の講座内容を充実し魅力的なカリキュラムづくりを進めるとともに、生涯学習関連施設等と連携し多様な学習機会の場を提供する。	生涯学習総合センター、青少年宇宙科学館、大宮図書館、うらわ美術館の4施設で全12コース及び特別講演を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	高度で専門的かつ多様なニーズに応える講座を引き続き実施していくためBとした。		
16	16				1-2-1-1-05	生活支援サービスの展開	図書館	ビジネス、法律、医療、健康、福祉、及び子育てに関する情報の提供など、市民の暮らしに直接関わる分野の情報サービスを積極的に進める。それぞれの分野の専門機関とも連携・協力し、市民の日常生活での課題解決に役立つ情報サービスを目指す。	市民の暮らしに直接関わる分野の資料を購入するとともに、チラシ・パンフレット等も設置して情報提供を行った。産業創造財団等と連携して、ビジネス相談会やセミナーを開催した。	A: 達成された(85%以上)	目標値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	ビジネス支援事業は主な事業として相談会とセミナーに分けられる。それぞれの開催数については連携先と協議の上、決めるが、今年度はセミナーに力を入れるため。		
17	17	2	I学べる	(1)多様な学習機会の提供	1-2-1-1-06	「さいたま市食育ナビ」による情報発信	健康増進課	さいたま市の食育ポータルサイト「さいたま市食育ナビ」による情報発信を行うとともに、市民同士の情報交換の場として活用する。	・市立小中学校、保育園の給食だよりやレシピ、食育取組事例集などを掲載した。 ・食育の担当者会議や協議会等でリーフレットを配布し、団体登録について呼びかけた。	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	連絡の取れない団体や活動していない団体は「団体登録数」としてカウントしない予定であったが、全ての団体に対しては確認できておらず、活動していない団体が含まれるため。	C: 見直し	登録団体にアンケートを実施し、サイトの活用状況を確認するとともに、活用を促す予定としたため。連絡の取れない団体や活動していない団体は「団体登録数」にカウントしないこととし、登録団体を整理する。		
18	18	1-2-1-1-07			食の安全に関する情報提供	食品・医薬品安全課	食の安全に関する講演会等を通じて、市民向けに正しい知識の普及啓発及び情報提供をする。	①9月25日(火)プラザノースで食の安全フォーラム「科学技術とメディアの関係を考えなおす」を開催。37人参加。 ②2月4日(月)プラザノースで食の安全フォーラム「みんなの鶏肉講座」を開催。43人参加。 ③12月10日(月)浦和コミュニティセンターでサイエンスカフェ「今さら聞けない!～食中毒のお話～」を開催。29人参加。 ④3月15日(金)さいたま市市立劇場でサイエンスカフェ「魚の寄生虫～アニサキス、クダアによる食中毒～」を開催。41人参加。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	食の安全に関する知識の定着、また、最新情報の普及のため、引き続き事業を行っていく。			
19	19	1-2-1-1-08			高齢者学級(介護予防事業との連携)(再掲)	公民館いきいき長寿推進課	高齢者の介護予防を促進するため、区や公民館が共催で高齢者学級(介護予防事業)を実施する。おもりを使った「いきいき百歳体操」や参加者同士の交流を行った上で、口腔、栄養、認知症予防の内容を含んだ複合型プログラムを実施している。また、教室修了者には、その後の自主活動化に向けた支援を行っている。	介護予防普及啓発事業として、公民館において、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的とした「生きがい健康づくり教室」を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした	B: 現状維持	団塊の世代が全て75歳以上を迎える2025年に向けて、引き続き、高齢者の介護予防を進めていく必要があるため			
20	20	1-2-1-1-09			食育に関する講座・教室	公民館	食育を通して、心と身体の健康と、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育むために、食育講座、料理教室等を実施する。	公民館において、親子料理教室、そば打ち、お菓子づくり等の食育講座を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。			
21	21	1-2-1-1-10			手話講習会	障害支援課	聴覚障害者のコミュニケーション手段のひとつである手話で日常会話を行うために必要な手話語彙、手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成するために、講習会を開催する。	手話奉仕員養成講習会開講時人数 ①(入門コース)浦和夜間、大宮午前、大宮夜間、中央午前 合計115名 ②(基礎コース)浦和夜間、大宮午後、大宮夜間、中央午前 合計116名	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	数値目標は下回ったものの、目標の80%以上に達したため。	A: 拡大・充実	さいたま市における手話通訳派遣依頼に対しての登録手話通訳者の数がまだ不足しているため			
22	22	1-2-1-1-11			障害者支援事業(就労支援講座・生活支援講座・発達障害者支援講座等)の充実	障害者総合支援センター	障害者の就労促進を支援するために、職業訓練や各種研修、授産所支援等を行う。また、社会資源の少ない発達障害者を支援するため講座等を開催する。	障害者の職業準備性を高めるため、及び地域生活上でのルールやマナーを身に付けるための就労支援講座等を56講座開催し、生活支援講座等を9講座開催した。また、発達障害者当事者及びその家族・支援者を対象として、生活・就労・対人関係等の講座等を23講座開催した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標に対する実績が85%以上であり、講座等の内容についても参加者の満足度が高かったため。	B: 現状維持	障害者就労の職業準備性、職業能力開発のため、各種講座を充実させる必要がある。また、発達障害に関する意識や生活上で役立つ情報を普及させることが当事者及びその家族等の地域生活の充実に繋がるため、継続して実施する。			
23	23	1-2-1-1-12			聴覚障害者のための社会教養講座の充実	生涯学習振興課	聴覚障害者を対象に、講演・社会見学など、関心・要望が高い内容の講座を、聴覚障害者関係団体に委託して開設している。	1:6/17講演「区議会議員になって」参加97人 2:7/21講演「今までのろう教育・これからのろう教育」参加75人 3:8/26講演「人生プランのつくり方」参加50人 4:9/8「日帰り社会見学旅行」参加44人 5:10/21講演「ろう者が立ち上げた社会起業から手話で広げるありがとうの輪へ」参加50人 6:12/2講演「聾人物伝(飛鳥時代～江戸時代)」参加102人	A: 達成された(85%以上)	生活上で役立つ知識を身につける講座や手話に関する学習会等、聴覚障害者のニーズに適った事業を実施した結果、目標を上回る参加延人数となったため。	B: 現状維持	聴覚障害者にとって、生活に役立つ知識などを知る講座は有意義であることから事業は継続とし、ホームページへの情報掲載等によるPRや魅力ある講座の開設に努めていく。			
24	24	1-2-1-1-13			障害のある児童とない児童の交流拡大	生涯学習振興課	小・中学生の、障害のある児童及びない児童をメンバーとして、スポーツ・レクリエーション・野外活動などを通して交流事業を行っている団体に補助金を交付し、活動を支援する。	障害のある児童及びない児童の交流を目的とし、スポーツ・レクリエーション等の事業を全14回実施した。	A: 達成された(85%以上)	レクリエーション活動やバーベキュー等を実施し、障害のある児童とない児童の相互理解を深めることができたため。	B: 現状維持	障害のある児童とない児童が交流し、相互理解を深めるためにも有用な事業であるので、学生ボランティアリーダーのスキルアップ、保護者が安心して児童を預けられる環境づくり、及び活動のPRに努める。			



生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
25	25	2 I学べる 多様な学習機会の拡充			①市民ニーズ・現代的課題への対応【環境】	1-2-1-1-14	さいたま市環境フォーラム	環境創造政策課	市民、事業者、学校、行政などがブース展示等を行い、日頃の環境保全活動を紹介するなど、多くの市民に環境に関心を持ってもらうための学習機会を提供する。	10月26日(金)・27日(土)に、さいたま新都心駅東自由通路にて開催し、市民、事業者、行政などによる環境への取組に関する展示、体験型ブース、ステージアトラクション等を行った。	C:あまり達成されていない(50%以上70%未満)	30年度目標の61.1%しか達成できなかったため。	B:現状維持	イベントの企画を工夫し、より魅力ある内容となるよう努めるとともに、効果的なPR方法を検討していくことで、参加者数の増加を図る。	
26	26					1-2-1-1-15	ネットワーク型環境教育拠点施設@さいたまCITY	環境創造政策課	市内の環境施設、事業者などが連携して、それぞれが持つ既存の環境教育資源を有効活用し、多くの人々が環境への関心を持つ機会を提供する。	ネットワーク型環境教育拠点施設数は前年度と同じ20施設を維持しました。また、市内20施設がそれぞれの特色を活かした施設見学や学習会、出前講座を実施し、総計69,433人がネットワーク型環境教育拠点施設を利用しました。	A:達成された(85%以上)	目標値を達成したため	A:拡大・充実	環境教育拠点施設数を増やすとともに、施設間の連携強化を図ることで機能を充実させ、より多様な環境学習の機会が提供できるよう、更なる拡充を図る。	
27	27					1-2-1-1-16	水環境ネットワーク	環境対策課	「さいたま市水環境ネットワーク」は平成16年6月に設立した組織で、水環境に係わる活動をしている市民団体と行政がネットワークを形成し協働することで、さいたま市内の良好な水環境を再生し、守り育てていくことを目的としている。事業の一環として、講師を招き講演会を開催するなどして、水環境に係わる知識を深めている。	平成31年1月25日(金)「講演会及び活動発表会」実施	A:達成された(85%以上)	目標とした参加人数を達成したため。	B:現状維持	今後も引き続き市民と協働して、市内の良好な水環境を再生し、守り育てていくため。	
28	28					1-2-1-1-17	水環境教育の推進(雨水利用の実践)	環境対策課	市内の小中学校に雨水タンクを設置し、雨水を花壇の水やりや打ち水に有効利用し、雨水利用による環境意識の向上を目標として、小学校への課外講座等を実施する。	市内小中学校3校の雨水タンクを修繕した。また、以下の3校で環境学習会を実施した。 H30.5.31 大久保東小学校 H30.10.3 城北小学校 H31.2.2 芝川小学校	A:達成された(85%以上)	環境学習会の実施回数が目標を上回ったため	B:現状維持	引き続き、雨水貯タンクの修繕が必要であり、併せて環境学習会も実施するため。	
29	29					1-2-1-1-18	アグリ・カルチャー・ビジネススクール	農業政策課	市民の農業への関心が高まる中、農業生産だけではなく農地の持つ多面的な機能や関連法、各種計画を熟知した総合的な知識・技能を有した、「農」の新たな担い手として、市の都市農業の発展を支援する人材(ランドコーディネーター)を育成するために開催する講座である。	全10回の講座を7月から9月まで実施し9名が受講番外編として農作業体験を実施し、5名が受講	C:あまり達成されていない(50%以上70%未満)	アグリカルチャービジネススクールを9名が受講し、そのうち7名がランドコーディネーターの認定を受けた。数値実績が数値目標の70%未満だったため	C:見直し	受講者数及び認定率の増加を図るため、講座内容並びにランドコーディネーターの活動の周知方法の充実等、見直しを検討している。	
30	30					1-2-1-1-19	市民園芸講座	農業者トレーニングセンター	身近な市民の「農」に対する理解を深めるために、市内在住の方を対象に各種の園芸講座を行っている。	夏野菜の育て方 バラの楽しみ方 洋らんの栽培管理 ガーデニング 秋野菜の育て方 イチゴの楽しみ方 子供向けクリスマスリース ハーバリウム 冬のバラ栽培 冬洋らん栽培 お正月向けコケ玉作り ミニ門松作り シクラメンの寄せ植え さくら草の育て方 夏野菜の育て方	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	台風や大雪又はインフルエンザや忌引等で受講者が欠席することもあり、全体を通しては、例年通りの参加者を得ていると判断しました。	B:現状維持	園芸にも流行りがあり、古くから親しまれている物もあれば、新しい手法で行われている物もあります。その両方をうまく取り入れて、市民のニーズに応える講座を開催しました。	
31	31					1-2-1-1-20	さくら草まつりの充実	観光国際課	特別天然記念物である田島ヶ原のサクラソウ自生地でのサクラソウの開花時期に合わせ、本市観光事業の振興、市の花サクラソウの啓発並びにサクラソウ自生地の保護保全を図るため「さくら草まつり」を実施する。	4月15日(土)・16日(日) 市役所会場 さくら草展、山草展、盆栽展、さくら草栽培相談他 桜草公園会場 さくら草コンサート、キャラクターショー他	D:達成されていない(50%未満)	サクラソウの啓発並びにサクラソウ自生地の保護保全を図ることはできているが、荒天のため来遊者が目標を下回ったため。	B:現状維持	市の花サクラソウの啓発並びにサクラソウ自生地の保護保全を図るため。継続的に開催する。	
32	32					1-2-1-1-21	環境講座	生涯学習総合センター・公民館	市民を対象として、身近な視点から環境問題を考えるきっかけづくりとして、環境講座を実施する。	公民館において環境講座を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
33	33					1-2-1-1-22	さいたま市消費生活展の開催	消費生活総合センター	市内で自主的に活動している消費者団体に日頃の活動・研究の成果を発表する場を提供するとともに、事業者団体の参加も得て、広く消費生活情報を提供し消費生活に関する啓発を図る。	さいたま新都心駅自由通路で、「あなたもわたしもみんな消費者～みんなの好奇心で未来は変わる」をテーマに、第18回消費生活展開催。消費生活に関するパネル展示、クイズラリー、ステージイベントなど。参加団体19、来場者数約5,200人。	A:達成された(85%以上)	消費者団体の成果発表の機会を提供することができた。また、ステージイベントやクイズラリーにより、目標を上回る来場者数を確保し、多くの方に対し、消費生活について啓発を図ることができたため。	B:現状維持	消費生活に関する諸問題の解決には、消費者団体や事業者団体と連携を図る必要があるため、引続き成果発表の場を確保するとともに、広く一般市民への啓発を行う機会であるため。	
34	34					1-2-1-1-23	消費生活講座等の開催	消費生活総合センター	自立した消費者としての市民の育成を進めるため、消費者として合理的に商品・サービスを選ぶように消費生活に関する消費生活講演会及び公民館、学校などへの消費生活出前講座を開催することで基礎的な知識の学習機会を提供し、消費生活に関する情報提供・知識修得を図る。	消費生活出前講座 85回/3,024人 消費生活セミナー 14回/710人 (内容)悪質商法・消費者トラブル・相続税の基礎知識など	A:達成された(85%以上)	セミナーについては、収納や相続など消費者のニーズに合ったテーマで開催したことで定員を確保することができた。また、出前講座については、開催にかかる啓発を行った結果、多くの開催依頼があり、参加人数が目標を達成したため。	B:現状維持	消費者被害の未然防止には、消費者教育が不可欠であるため、引続き、消費者のニーズに合ったセミナーや講座を開催する必要があるため。	
35	35	1-2-1-1-24	消費者講座の充実	公民館	市民の消費者意識の高揚を図ることを目的として、消費者講座等を実施する。	公民館において、資産運用の基礎、確定拠出年金など、身近な暮らしに関する消費者講座を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。					

生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
36	36				1-2-1-1-25	防災訓練の実施	防災課	地域防災計画に基づき、大規模地震に対する地域住民、自主防災組織及び防災関係機関の防災力の充実強化を図るとともに、災害対応能力の向上及び防災意識の高揚を図ることを目的とし、さいたま市総合防災訓練、各区防災訓練を実施している。	①8月25日総合防災訓練実施 参加人数(7,328人) ②6月～3月 各区避難所運営訓練 参加人数(13,860人)	A:達成された(85%以上)	目標に対し、100%を超える参加人数を達成したことから、事業目的に照らし、一定の成果があったものと認められるため。	B:現状維持	地域住民の防災意識を高く保つため、引き続き関係機関と訓練内容の充実を図る必要がある。また、訓練参加者の固定化を招かないよう子どもから大人まで幅広く参加できる訓練を実施する必要がある。		
37	37				1-2-1-1-26	交通安全教育の充実	市民生活安全課	市内の小学校・自治会・老人クラブ・地域等より要望を受け、市長委嘱の交通安全教育指導員が出張方式による交通安全教室を開催するものである。	開催回数合計：224回（参加 24,675人） 園児：9回（参加 755人） 小学生：159回（参加 22,263人） 高齢者：30回（参加 903人） その他：26回（参加 754人）	A:達成された(85%以上)	目標回数は達成できなかったが、目標回数の85%以上を達成したため。	A:拡大・充実	交通安全意識の高揚と交通事故件数の減少を目的に、各年代に合わせた学習プログラムによる交通安全教室を引き続き開催する。また、未就学児及び高齢者を対象とした交通安全教室の開催回数の増加を目指す。		
38	38				1-2-1-1-27	少年消防団員の充実	予防課	市内の小学4年生から高校3年生までを対象に、火災や地震など災害に対する知識を習得させ、消防訓練を通じ規律礼節を身に付けさせることを目的とし、市内各消防署にて研修、訓練を実施している。	研修回数60回、参加839名 (1)合同研修5回、参加183名 ・さいたま市総合防災訓練 42名(小学生28名、中学生14名) ・県外研修(千葉県立関宿城博物館・ミュージアムパーク茨城)小学生77名 ・県外研修(本所防災館)中学生11名 ・上級命講習 中学生12名 ・消防出初式 96名(小学生78名、中学生18名) (2)各署での研修(10署合計) 55回 601名	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標の研修回数については、113.2%を達成しているが、参加人員については83.9%のため。	B:現状維持	昨年度の目標達成度を考えると現状維持が望ましい。		
39	39				1-2-1-1-28	防災展示ホール	予防課	地震や火災などの災害についての疑似体験等を通じて、災害に関する知識の普及及び防火防災意識の高揚を図っている。	1 来館者数12,617名 2 夏休み特別企画「めざせ!!防災マスター」142名 平成30年7月21日から平成30年9月26日までの土日 計12回 3 冬休み特別企画「めざせ!!防災マスター」223名 平成30年12月1日から平成30年12月24日までの土日祝日 計9回 4 特別企画震災写真展「いつまでも忘れない」1,574名 平成30年3月2日から平成30年4月14日まで(年度内4月1日から4月14日まで) 568名 平成31年3月9日から平成31年4月15日まで(年度内3月31日まで) 1,006名	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標に対して78.9%のため。	E:縮小	市民へ火災や地震等の災害について、楽しみながら学習してもらうため、魅力ある企画の立案に努めているが、今年度については建物の改修工事があるため、縮小が望ましい。		
40	40				1-2-1-1-29	交通安全・防犯教育の充実	公民館	地域の防犯、防災を目的として、防犯または防災教室などの講座を実施する。	公民館において、地震防災対策に関する講座や、AED講習会等の交通安全・防犯教育講座を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
新規	41	I	2	(1)	1-2-1-1-34	応急手当講習(再掲)	救急課	応急手当の重要性、心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ講習	1,256回の応急手当講習を実施し、47,627人が受講した	A:達成された(85%以上)	小学校5、6年生が救命入門コースを受講したことにより数値目標を達成したため。	A:拡大・充実	目標としていた受講者数を達成したため目標人数を上方修正し、拡大した。		
41	42				1-2-1-1-30	国際友好フェアの充実	観光国際課	国際交流団体の活動紹介、各国の物産・食べ物の紹介・販売、ステージでの民族舞踊・音楽の披露、交流テントでの子供向け国際交流・異文化体験イベントを行う。	5月3日(祝)・4日(祝) 市民の森・見沼グリーンセンター会場 ステージイベント、国際交流テント、国際屋台村、ユース国際ボランティアテント、姉妹友好都市紹介テント、協会活動紹介テント、ミニ応急体験会	C:あまり達成されていない(50%以上70%未満)	ステージでの民族舞踊・音楽の披露、交流テントでの国際交流・異文化体験イベントを行ったが、来場者数は目標数値に達しなかったため。	B:現状維持	本イベントを楽しみにする声もあり、市民に定着してきている。継続的な実施により、国際交流、及び市民の異文化理解を促進する。		
42	43				1-2-1-1-31	国際理解事業の充実	公民館	国際化に対応し、国際理解教育を推進するため、国際理解講座等の講座を実施する。	公民館において、外国語講座、外国の文化・歴史・料理等の国際理解講座を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
43	44				1-2-1-1-32	パソコン教室	生涯学習総合センター・公民館	情報化社会に対応するため、基礎を中心とした各種パソコン教室を実施する。	生涯学習総合センター及び各公民館において基本的な操作から学ぶ講座を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
44	45				1-2-1-1-33	親!おや?なるほどだねッ出前講座	教育研究所	ネットトラブルから子どもたちを守るために、保護者をはじめとする子どもを取り巻く大人たちが、携帯電話やスマートフォン等に関する現状や課題を理解し、子どもたちに指導できるようにするための出前講座を行う。	平成30年度は、計18か所(前年度比+5回)で実施し、延べ1,138人(前年比▲91人)が参加した。	A:達成された(85%以上)	数値目標1,300に対し、1,138であったので 87.5%となり85%以上の達成となる。	B:現状維持	昨年度に比べ実施回数は増加しているが、参加人数での伸びがないため、今年度も昨年度同様の数値目標とする。		
45	46				1-2-1-2-01	就職支援講座及び働く人の支援講座	労働政策課	1求職者を対象に就職支援セミナーを開催する。 2勤労者や就労希望者に対して、職業能力の開発・向上を図るため、資格試験取得対策講座を開催する。 3働く人が知っておきたい労務実務や時事的な問題等について、正しい理解と認識を深めるための講座を開催する。 ※平成29年度より「労働法講座」「職業実務講座」が「働く人の支援講座」として一体化したため、1-2-1-2-03「労働法講座の充実」を統合。	①就職支援セミナー ・職業的自立支援事業実施分セミナー(保護者向け含む) 実施回数291回、参加者数1,442人 ・埼玉労働局主催就職支援セミナー 実施回数160回、参加者数5,893人 ②働く人の支援講座 講座数15講座、回数131回、参加者数延4,105人	A:達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上の講座回数を達成したため。	E:縮小	事業内容を以下の内容に変更し、事業の縮小を行ったため。 1求職者を対象に就職支援セミナーを開催する。 2働く人が知っておきたい労務実務や時事的な問題等について、正しい理解と認識を深めるための講座を開催する。		
46	47				1-2-1-2-02	早期起業家教育事業	労働政策課	市内小・中学生に対し、「地域資源など本市の特性を活かした商品づくり」をテーマに、会社の立ち上げから商品企画、仕入、製造、販売、決算等に至るビジネスの一連の流れを実践的に体験するための教育プログラムを実施する。	①公募型 ・参加者数60人 ・期間 7月21日～9月9日(全9回) ②学校実施型 ・参加学校数7校 ・参加人数1,040人 ※期間については各学校ごとに異なる。	A:達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上の参加者数を達成したため。	B:現状維持	引き続き、小・中学生を対象に、起業家精神の醸成及び将来の地域経済を担う人材の育成を図るため、本事業を継続する。		



生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
47	48	I学べる	多様な学習機会の拡充	(1)多様な学習機会の提供	②キャリア教育・職業教育の充実	1-2-1-2-04	ロボット工場の支援	労働政策課	小学4年生～中学3年生を対象に、茶運び人形ロボットやキャリアロボット等の作製を通じ、ものづくりへの興味喚起を行っている団体に補助金を交付し、活動を支援する。	・開催回数 6回 ・参加者数 延129人	A: 達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上の年間延べ参加者数を達成したため。	B: 現状維持	引き続き、小学3年生～中学3年生を対象に、ものづくりへの興味喚起を行っている団体の活動を支援するため、本事業を継続する。	
48	49					1-2-1-2-05	人権啓発講演会の充実	人権政策・男女共同参画課	現在においてもなお、差別意識が根強く存在し、差別事象が後を絶たない状況にある。そこで、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律に基づき、その差別意識の解消に向けた啓発活動を推進するため人権啓発講演会を実施する。	今話題となっている子どもとインターネットに関する講演を実施し、1,316人が参加した。	A: 達成された(85%以上)	実績値が目標値の85%以上を達成したため。	B: 現状維持	講演会参加者の人権理解度は高い数値を維持しており、今後も、社会のニーズに応えた講演内容を検討し実施していく。その上で、より多くの市民に参加を促すため、周知方法の多様化に努めていく。	
49	50				③人権教育の推進	1-2-1-3-01	三つ和会館事業の充実	人権政策・男女共同参画課	近隣地域住民を対象に、人権意識高揚の活動拠点及び地域のコミュニティ施設として、人権講演会及び各種講座を開催する。	「人権講演会」「ほのぼの交流会」「子ども造形ひろば」「親子料理教室」等の講座・事業計122回、参加延人数3,961人	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	日程的な問題から、これ以上の講座・事業数の増加は難しいため、現在の事業を継続し、人権意識の向上及び地域住民の交流促進に資するよう努めるものとする。	
50	51					1-2-1-3-02	「女・男フェスタさいたま」の開催	人権政策・男女共同参画課	市民団体から構成される「さいたま市男女共同参画推進団体連絡協議会」とさいたま市との共催により、年1回、男女共同参画意識啓発事業として、「女・男フェスタさいたま」を開催する。事業費としては、市から協議会に補助金を交付し、協議会が中心になり企画・運営を行う。	日時:平成31年1月13日・14日 会場:シーノ大宮センタープラザ10階(生涯学習総合センター) 催物:講演、映画上映会、展示、ワークショップ、ステージ発表 参加者数:延600人	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	さいたま市における市民参加型の男女共同参画推進をしていく上で、市民が協働で活動するにはフェスタのようなイベントは効果的であり、参加する市民団体を増やし開催していく。	
51	52					1-2-1-3-03	男女共同参画推進のための講座・講演会の充実	人権政策・男女共同参画課	男女共同参画についての意識の向上を図るために、今日的な課題やニーズを踏まえながら講座、講演会を開催する。	1傷ついた心のケア講座 2性暴力防止セミナー 3DV防止セミナー 4男女共同参画週間記念事業 など 延べ開催回数:51回、参加者数:延2,525人	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	第4次さいたま市まちづくりプランに基づき、受講者数の増加につながるような魅力的な講座を立案し、市民の知識と理解を深め実践につなげる機会を提供していく。	
52	53					1-2-1-3-04	人権教育推進事業の充実	人権教育推進室	すべての人々の人権が尊重された明るい社会の実現を目指して、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向け、家庭・地域・学校・職場などあらゆる場において人権意識の高揚と人権感覚が身に付くことを目的とした、人権教育の推進を図る。	講座・講演会参加者数 9,605人 人権標語応募数 92,092人 人権作文応募数 70,246人 教育啓発資料等作成 148,650部	A: 達成された(85%以上)	人権意識の高揚と人権感覚が身につくことを目的とした講座・講演会の参加者数が数値目標を上回ったため。	A: 拡大・充実	人権が尊重された明るい地域社会の実現を目指して、引き続き、人権意識の高揚などが図れる講座・講演会等を実施し、人権教育推進事業の充実に努めていく。	
53	54					1-2-1-3-05	人権教育集会所事業の充実	人権教育推進室	地域社会における人権教育を推進するため、地域住民の教育文化の向上と交流を図るため、人権教育集会所の管理・運営を行う。	集会所利用者数 24,730人 五反田会館 18,795人 鹿室南集会所 5,935人	A: 達成された(85%以上)	地域住民の教育文化の向上と交流を図るための施設である人権教育集会所の利用人数は数値目標を上回ったため。	A: 拡大・充実	地域社会における人権教育を推進するため、また地域住民の教育文化の向上を図るため、今後も誰もが気軽に立ち寄り、利用できる人権教育集会所になるよう、事業の充実に努める。	
54	55					1-2-1-3-06	人権教育・啓発講座	公民館	市民の人権意識の高揚及び人権・同和问题等の理解を図るため、広く人権に関する講座を実施する。	公民館において、人権落語、コンサート等の人権に関する講座を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
55	56				④文化・芸術にふれあう機会の提供	1-2-1-4-01	文化芸術に関する鑑賞機会の提供	文化振興課	芸術鑑賞へのきっかけとなるようなものから、高度なものまで、より多くの市民に対する多岐に亘る芸術公演等の鑑賞機会を提供する。	文化施設7施設のホール事業やアウトリーチ事業では、音楽66事業、落語15事業、演芸1事業、劇・朗読劇1事業、舞踊3事業、伝統文化8事業、その他7の計101事業を開催した。	A: 達成された(85%以上)	多岐に渡るジャンルの公演を行い、数値目標に対する実績が達成されたため。	A: 拡大・充実	「無料のロビーコンサートやワンコインコンサートの拡大」「アウトリーチ事業の積極的な継続」を中心に鑑賞事業の充実ははかっていくため。(※文化センターは大規模修繕のため令和元年度は11月まで休館)	
56	57					1-2-1-4-02	国際的な芸術祭の開催	国際芸術祭開催準備室	文化芸術都市の創造に向けて、多様な文化芸術と触れあうことのできる国際的な芸術祭を開催する。	【実績】開催計画・広報戦略の策定／アーティストの選定・先行アートプロジェクトの実施／市民プロジェクトの企画・新規カテゴリー(応援プロジェクト)の設定／広報活動の実施／東京2020大会の公認文化オリンピアド及びbeyond2020プログラムの認証	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	来場者数については目標達成となっているが、認知度については、達成率が70%程度となっているため。	A: 拡大・充実	国際芸術祭の開催計画に基づき、参加者数の獲得、認知度向上に向け、引き続き広報活動、各種プロジェクト展開を行うとともに、国際芸術祭開催100日前から重点的にPR活動を開始します。	
57	58					1-2-1-4-03	常設展・企画展の充実	文化振興課(漫画会館)	日本近代漫画の先駆者「北沢楽天」の顕彰と、漫画文化の振興を図るため、収蔵品展・企画漫画展・公募漫画展・漫画教室等を実施している。	収蔵品展:2/23/-5/6 企画漫画展:7/7-8/26,9/8-11/11 公募漫画展:8/1-9/6(募集) 5/19-6/24,11/23-2/11(展示) こども漫画教室:12/9	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値には達しなかったが、目標数値の80%は超えたため。	B: 現状維持	展示の充実に継続し、特に調査研究等による利用者へ資料提供の便利を図るため、資料を整理する必要があるため。	
58	59					1-2-1-4-04	盆栽文化の振興	大宮盆栽美術館	盆栽を中心として、盆器、水石、絵画資料、歴史・民俗資料などの紹介により、盆栽文化をひろく内外に発信する。	・特別展2回、企画展11回 ・講座等479回 ・さいたま国際盆栽アカデミー日本人向け・在住外国人向けコース(初級・中級)の開講	A: 達成された(85%以上)	目標数値を85%以上達成したため	A: 拡大・充実	展示内容及び普及活動のさらなる充実に努めると共に、引き続き、来館者数増加に向けた取組みが必要となるため。	

生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績	③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由
59	60	2	I学べる	(1)多様な学習機会の提供	④文化・芸術にふれあう機会の提供	1-2-1-4-05	現代短歌新人賞の充実	生涯学習振興課	1年間に刊行された、原則として第一歌集を対象として、識者アンケート及び選考会によって受賞作品1点を決定する。表彰式・特別講演を開催し、広く市民に周知する。	識者から推薦された歌集の中から選考会を経て、最もふさわしい歌集を1点決定し、平成31年3月10日に表彰式・特別講演を行い156人の参加があった。	C:あまり達成されていない(50%以上70%未満)	目標値に対して参加人数が約62%であったため。	B:現状維持	現代短歌の創成期に活躍した歌人の方々の指導によって、現在も多くの歌人が活動しており、今後もそのような経緯と本市の文化都市、文教都市としての魅力を発信するため。
60	61					1-2-1-4-06	文化・芸術講座の充実	公民館	文化・芸術に親しむことを目的として、文化・芸術講座を実施する。	公民館において、コンサート、文学・歴史講座、陶芸等の文化・芸術講座を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。
61	62					1-2-1-4-07	コレクション展	うらわ美術館	さいたま市ゆかりの作家達の優れた作品と、関連する国内外の作品を、収蔵品を中心に紹介する。	「初公開 三尾呉石『猛虎の圖』」(平成30年5月2日～6月17日を開催した。	A:達成された(85%以上)	目標以上の方に当館所蔵のコレクションを紹介できたため。	B:現状維持	コレクション展の開催により、収蔵品の紹介に努めていく。同時期に開催する企画展の内容に左右されず、コレクション展自体で集客が見込める内容を目指す。
62	63				1-2-1-5-01	総合型地域スポーツクラブの支援	スポーツ振興課	市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツにたずさわるとして、多様・多世代にわたり地域住民が主体的な運営を行う総合型地域スポーツクラブに情報提供や広報活動の支援を行う。	リーフレット作成部数4,000部、さいたまスポーツフェスティバル2018への参加数1クラブ、さいたま市総合型地域スポーツクラブ推進委員会開催2回	A:達成された(85%以上)	目標のクラブ会員数を超える実績があったため。	B:現状維持	各クラブの地域における認知度向上を図るため、地域の公共施設等との連携を進めるなど、市民に対する更なる周知を図っていく必要がある。	
63	64				1-2-1-5-02	シニアスポーツ大会の充実	スポーツ振興課	シニア年代の市民が気楽に参加できる大会を開催することにより、健康増進・体力向上を図るとともに、相互の親睦を深めることを目的とする。	サッカー 11チーム 266名 バレーボール(家庭婦人) 5チーム 76名 軟式野球 4チーム 87名 ソフトボール 6チーム 107名 合計 26チーム 536名	A:達成された(85%以上)	目標の参加人数を超える実績があったため。	B:現状維持	会場の都合からも、募集チームの数は限定せざるを得ないことから、大幅に参加者数を増やすことは難しいため、事業の継続としている。	
64	65				1-2-1-5-03	さいたま国際マラソン	スポーツイベント課	フルマラソンを中心とした市民マラソンと女子マラソン代表選手選考レースを併せて開催することにより、市民のスポーツに対する意欲・関心を高め、「スポーツのまち さいたま」としての都市イメージを国内外に発信する。	東京2020大会の女子マラソン代表選手を選考するマラソングランドチャンピオンシップシリーズのレースと併せ、一般フルマラソン・8km・1.5km・親子ラン・車いす・2時間チームランの各部門を開催した。	A:達成された(85%以上)	フルマラソンや8kmの部で定員に達したほか、駒場ファンランの各部門でも多くの参加申込があり、目標を達成したため。	B:現状維持	会場のキャパシティや競技を安全に実施する観点から、現状の規模で継続開催していくことが望ましいため。	
65	66				1-2-1-5-04	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課	スポーツ推進委員を対象に、スポーツ指導者として資質の向上や指導に必要な理論・実践方法に関するさまざまな研修を実施して育成を図る。	6/25 中央研修会 104名 12/2、16 実技研修会 145名	A:達成された(85%以上)	目標の参加人数に近い実績があったため。	B:現状維持	研修会の実施については、現行の手法が効率的であり、参加数の大幅な拡充は難しいが、引き続き研修会を実施し、スポーツ指導者の育成を図る。	
66	67				1-2-1-5-05	レクリエーション組織の育成	スポーツ振興課	多くの市民の方々にレクリエーション・スポーツの楽しさを体感してもらい、会員と市民の親睦・交流を通して、加入を呼びかけ、会員数を増加させることを目的とする。	普及事業 19団体実施 延べ1933人	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標に対して74%の達成度だったため。	B:現状維持	スポーツ・レクリエーションの普及促進のため、引き続き一般市民の方に楽しさや必要性を体感していただく機会を提供する必要がある。	
67	68				1-2-1-5-06	レクリエーションフェスティバルの充実	スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーションの体験を通じて、市民相互および加盟団体との交流を深め、より多くの市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加を促す。	レクリエーションフェスティバル 平成30年6月3日	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標に対して83%の達成度だったため	B:現状維持	スポーツ・レクリエーションの普及促進のため、引き続き一般市民の方に楽しさや必要性を体感していただく機会を提供する必要がある。	
68	69				1-2-1-5-07	さいたま市・南会津町たていわ親善ツアーデー	スポーツ振興課	世代・地域を越えた交流及び健康・体力づくりを図るため、友好都市である南会津町において、2日間にわたるハイキング等を開催する。	9月29日から1泊2日で実施し、市民153名が参加した。南会津町の協力により、事故なく2日間とも予定通り行うことができた。	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	参加者のアンケート結果において、目標数値には達しなかったが、満足度に近い実績があったため。	G:その他	リピーターが多く、参加者の年齢層も偏りがみられる。また、他のスポーツイベントと比べても、参加者1人当たりの市の費用負担が大きい。引き続き、運用の仕方も含め事業のあり方について検討していく。	
69	70	1-2-1-5-08	スポーツ施設の整備・充実(スポーツ振興課所管体育館・武道館)	スポーツ振興課	スポーツ振興課が所管している体育館・武道館の利用を促進し、利用者が安全で使いやすい体育館・武道館になるよう設備、管理運営の充実を図る。	浦和駒場体育館 288,556人 大宮体育館 276,839人 与野体育館 188,683人 浦和西体育館102,743人 記念総合体育館 481,018人 大宮武道館 230,453人 計 1,568,292人	A:達成された(85%以上)	利用人数が数値目標の100%を超えて達成したため。	B:現状維持	指定管理者制度の活用により、引き続き利用者サービスの向上を図る。このため、事業の方向性は現状維持の「B」とした。				
70	71	1-2-1-5-09	スポーツ教室の充実	公民館	生涯スポーツの振興及び地域住民の健康づくりを目的として、スポーツ教室等の講座を実施する。	公民館において、ウォーキングやヨガ、ストレッチ等を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。				



生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
新規	72				⑤生涯スポーツの振興	1-2-1-5-10	障害者スポーツ・レクリエーション教室	障害政策課	スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障害者の体力増強・交流・余暇活動等に資するため、各種の教室を開催し、障害者の社会参加の促進、健康の増進を図ることを目的としている。	陸上競技、水泳、卓球、サウンドテーブルテニス、フライングディスク、ボウリング、野球、バスケットボール、サッカー、バレーボール、フットベースボール、車いすバスケットボール、ボッチャの計13競技17教室を開催し、306名が参加した。			G: その他	参加者の拡充のため、ボッチャ、サッカー、フライングディスクの3教室について、市内小中学校を訪問して開催することとしたため。	
	71				⑥参加型・体験型学習の推進	1-2-1-6-01	文化芸術創造に関する講座の実施	文化振興課	個人の創作意欲の喚起とともに、新たなコミュニティの形成と文化への関わりを深めるきっかけとなるような講座を実施する。	文化センター、市民会館うらわ、市民会館おおみや、市民会館いわつき、プラザイースト、プラザウエスト、アウトリーチ講座で計78事業を開催した。	A: 達成された(85%以上)	子どもから大人まで様々な世代を対象とした講座を開催し、数値目標に対する実績が達成されたため。	A: 拡大・充実	子どもから大人までの様々な世代の方を対象に、文化芸術を観るだけでなく、公演等に出演や参加をしていただけるような市民参加型事業の拡大・充実をはかっていくため。	
	72					1-2-1-6-02	青少年の野外活動の支援	青少年育成課	キャンプ、野外炊飯、レクリエーション、自然体験学習ができるグリーンライフ猿花キャンプ場の管理・運営を行い、野外活動の場の充実を図る。	開設期間: 4月1日～11月30日 キャンプ場利用者数: 2,341人 キャンプ場利用者団体数: 78組	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標値の利用者延べ人数3,000人に対し、2,341人の利用者があったため。	B: 現状維持	目標がほぼ達成されているため、市民へキャンプ場の周知を図っていく。	
	73					1-2-1-6-03	子ども体験教室等	公民館	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てることを目的に、子どもや親子を対象とした体験教室等を実施する。	公民館において、主に夏休み期間を中心に工作や料理、スポーツ等の子ども公民館を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
	74					1-2-1-6-04	あらゆる世代に向けたサービスの充実	図書館	乳幼児から高齢者まで、誰もが利用でき、交流の生まれる市民の広場としての役割を果たす。また、人生のどのような段階においても、役に立ち、楽しめるような資料とサービスを提供する。	乳幼児と保護者を対象とした「あかちゃんおはなし会」、児童を対象とした「一日図書館員」等の各種の催し、働く世代を対象としたビジネス支援事業、各年代向けのテーマ資料展示等を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標値の919回を上回ったため、Aとした。	B: 現状維持	あらゆる世代に役に立ち、楽しめるような資料とサービスを提供するため。	
	75					1-2-1-6-05	夏休み子ども博物館	博物館(市立博物館)	「夏休み子ども博物館」を開催し、児童の研究・学習の参考となるテーマ展示を行い、各種関連講座を開催する。	小中学生の学習の参考となる4つのテーマで展示を行い、31回の体験講座を実施した。	A: 達成された(85%以上)	延べ参加者数は減ったものの、91%の達成度であるため。	B: 現状維持	夏季休業中の小中学生への学習の場や自由研究のヒントを提供しているため。	
	76					1-2-1-6-06	体験学習の充実	博物館(浦和くらしの博物館民家園)	小学校の各学年にあわせた体験学習を行い、学校教育との連携を進める。	小学校3年生を中心に体験学習を行い、社会科の学習に生かした。	A: 達成された(85%以上)	実施校数はやや減ったものの、85%であったため。	B: 現状維持	小学校からの体験学習の希望があり、学習に生かしているため。	
	77					1-2-1-6-07	自然に学ぶ夏の学校「むし・ほし・いし」	館岩少年自然の家	市立小学校の6年生及び平成28年本事業参加者(現中学校2年生)を対象とした東京大学との共催事業。日本近海でレアアースを発見し、日本の鉱物資源の可能性を広げることに大きく貢献している加藤泰浩学校長のもと「むし(昆虫採集)」「ほし(星空観察)」「いし(鉱物観察)」を中心とした南会津の雄大な自然の中で自然体験を通して、五感を働かせて楽しく学ぶことを目的とする。	小学6年生34名、中学2年生10名の参加があった。	A: 達成された(85%以上)	参加人数が昨年同数並みのため	B: 現状維持	現状維持	
	78				①乳幼児期における学習機会の提供	1-2-2-1-01	ブックスタート事業	子育て支援政策課	絵本の引換え券を4か月児健診の通知と一緒に送付し、引換えの主会場である単独型子育て支援センターにおいて、乳児とその保護者にセンター職員が絵本の読み聞かせ方をアドバイスした後、絵本などの入ったブックスタートパックをプレゼントする。	対象者数: 10,282人 引換者数: 6,727人 引換率: 65.4%	A: 達成された(85%以上)	引換えの主会場である単独型子育て支援センターで引換えできなかった対象者への救済措置として、各保育園での配布も実施し、平成30年度数値目標の96%の対象者にブックスタートパックを贈呈できたため。	B: 現状維持	赤ちゃんと保護者が絵本を通じて楽しいひとときをもち、親子の絆を深める一助となっているため。	
	79					1-2-2-2-01	青少年団体の活動支援	青少年育成課	青少年の健全育成に関わる団体に支援をすることにより、指導者やリーダーの養成を進め、地域における活動を活性化させる。	青少年さいたま市民会議外3団体に対し、活動を支援した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	各団体が青少年の健全育成に資する活動を行ったため。	B: 現状維持	活動支援対象の団体数が多く、事務が煩雑になりやすいことから、活動を支援する補助金の更なる透明性を図るため実績報告書を厳格に確認する必要がある。	
	80					1-2-2-2-02	少年少女発明クラブの支援	労働政策課	小学4年生～中学2年生を対象に、自由な発想による工作教室から、科学的な見方、考え方を体得するための学習会の開催及びその普及、啓蒙を図るための展示会開催などの様々な活動を通じ、少年少女の科学技術への夢と情熱を育む活動を行っている団体に補助金を交付し、活動を支援する。	・活動日数 34日 ・クラブ員数 40人	A: 達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上のクラブ員数を達成したため。	B: 現状維持	引き続き、小学4年生～中学2年生を対象に、科学技術への夢と情熱を育む活動を行っている団体の活動を支援するため、本事業を継続する。	
	81					1-2-2-2-03	青少年向け講座の充実	公民館	心豊かでたくましい青少年(主に中学生・高校生を対象)を社会全体で育てることを目的に、青少年を対象とした講座を実施する。	公民館において、料理、ヒップホップダンス講座等を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	

生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
82	84				1-2-2-2-04	子どもの社会参画推進事業	子育て支援政策課 青少年育成課	子どもがつくるまち、青少年フォーラム、青少年の主張大会など、子どもの年代に応じた社会参画を推進する事業を実施する。	・子どもがつくるまちを全区で実施した。 ・12月8日 青少年の主張大会 応募総数1,031点	A: 達成された(85%以上)	・平成29年度につづき、全区で実施し、目標を達成することができたため。 ・目標の1,500人に対し、1,274人の応募者及び大会参加者があったため。	B: 現状維持	本事業は、さいたま市の子ども社会参画意識の醸成を図るため、引き続き全区で実施する。		
83	85				1-2-2-2-05	子ども公民館	公民館	心豊かでたくましい子どもを社会全体で育てることを目的に、夏休み期間などに子どもを対象とした事業を実施する。	公民館において、主に夏休み期間を中心に工作や料理、スポーツ等の子ども公民館を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
84	86				1-2-2-2-07	子ども読書活動推進事業	図書館	子どもに読書をする楽しさや大切さを知らせるため、子どもの身近に本がある環境づくりを家庭・学校・地域と連携して推進する。	①市立小・中・特別支援学校を対象に204学級に8,180冊の学級文庫用図書を出し ②【本は王さま2018】『続ボランティア向け読み聞かせブックリスト』等ブックガイドの配布 ③「しよれどくよれどく」を市立小学校1年生全員に配付 ④「市立高校4校POPバトル」や「冬の読書キャンペーン」など、学校と連携した事業の開催や学校訪問・図書館招待事業の実施 ⑤読み聞かせボランティア養成のための講座の開催	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	数値目標を達成しており、小、中学生については前年度実績より良好だったため。	B: 現状維持	子どもの読書活動を推進するには、継続して事業を実施する必要があるため。		
85	87			(2) ライフステージに応じた学習機会の提供	1-2-2-4-01	子育て講座の充実	生涯学習振興課	子育て講座は、学校教育に支障が無い範囲で、市立小・中学校が児童生徒の保護者を対象とした講座を開設し、家庭における教育力の向上を支援するものである。多くの保護者が集まる機会(就学時健診・入学説明会など)を利用して開設する。	小学校入学前の就学時健診や、中学校入学前の入学説明会などの機会を活用し、保護者を対象とした子育て講座を実施した。 ・小学校103校中103校で実施 ・中学校57校中26校で実施	A: 達成された(85%以上)	小学校は全103校が開設し、中学校は57校中26校が開設したことで、実績が目標数値に達したため。	A: 拡大・充実	小学校では引き続き全校で開設し、中学校ではより多くの学校で開設をするため働きかけていく。		
86	88			(4) 子育て期における学習機会の提供	1-2-2-4-02	PTA活動との連携(再掲)	生涯学習振興課	PTA活動の振興とその円滑な事業推進を目的として、社会教育関係団体補助金を交付する。	補助金交付:1,650千円	A: 達成された(85%以上)	補助金交付により、PTA活動の振興と円滑な事業推進に貢献している。	B: 現状維持	子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域の連携は重要であり、その要となるPTA活動に対し、引き続き支援していくことは必要である。		
87	89			(2) ライフステージに応じた学習機会の提供	1-2-2-4-03	親の学習・家庭教育学級	生涯学習総合センター・公民館	都市化・核家族化に対応し、親同士がテーマに沿って話し合いながら、様々な考え方や自らの気づきを通して、親として成長していくことを支援する参加型学習の実施や、家庭における子育てについての理解を深める講座を実施する。	親に対する支援として、公民館において他の子育て関連事業との組合せ等の工夫をしながら親の学習事業を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
88	90			(2) ライフステージに応じた学習機会の提供	1-2-2-4-04	保幼小連携教育研修会	教育研究所	保幼小連携教育研修会は、年に1回開催し、大学教授や各分野の専門家が幼児教育にかかわる講演を行うものである。小学校教員、市立及び私立保育園、私立幼稚園の保育士を対象に合同で講演及び情報交換を行っている。	8月3日(金)実施の研修会に220人(前年度比+19名)の参加があった。	A: 達成された(85%以上)	数値目標180名を上回る220名が研修会に参加したため	B: 現状維持	ほぼ同数での研修会参加を促しているため。		
89	91			(4) 子育て期における学習機会の提供	1-2-2-5-01	シニアユニバーシティ(再掲)	高齢福祉課	60歳以上の高齢者を対象に、1年制の大学及び大学院を実施。講義やイベントを通じて学生間の親睦を図り、地域の仲間づくり、社会参加、生きがいづくりを推進する。	市内在住の60歳以上の方を対象としたシニアユニバーシティを実施しました。また、卒業生で構成される校友会連合会に補助金を交付しました。 ・卒業生数 大学 369人 大学院 349人	A: 達成された(85%以上)	評価指標(参加者の事業満足度)について、目標83%に対して実績が90.4%であり、達成度は109%であるためAとした。	B: 現状維持	高い満足度を得られている事業であり、引き続き多くの高齢者が受講することで、生きがいづくりを促進する。		
90	92			(5) 高齢期における学習機会の提供	1-2-2-5-02	高齢者学級(介護予防事業との連携)	公民館 いきいき長寿推進課	高齢者の介護予防を促進するため、区や公民館が共催で高齢者学級(介護予防事業)を実施する。おもりを使った「いきいき百歳体操」や参加者同士の交流を行った上で、口腔、栄養、認知症予防の内容を含んだ複合型プログラムを実施している。また、教室修了者には、その後の自主活動化に向けた支援を行っている。	介護予防普及啓発事業として、公民館において、高齢者の生きがいづくり、健康づくりを目的とした「生きがい健康づくり教室」を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした	B: 現状維持	団塊の世代が全て75歳以上を迎える2025年に向けて、引き続き、高齢者の介護予防を進めていく必要があるため		
91	93			(4) 子育て期における学習機会の提供	1-2-2-5-04	高齢者支援事業の充実	公民館	高齢化社会に対応し、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、地域活動(ボランティア活動)支援などを目的として、高齢者支援事業を実施する。(介護予防事業を除く。)	高齢者の生きがいづくり、健康づくり、地域活動支援を通して、高齢者を支援する事業を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
92	94			(3) 学習環境の整備	1-2-3-1-01	多文化サービスの充実	図書館	様々な言語や文化に対する相互理解を深めるために、外国語資料の収集に努める。また、日本語以外を母語とする人々へのサービスの充実を図り、非常時にも対応できる情報提供に力を入れる。	寄贈資料を活用し、受入点数を増やした。また英語以外の言語を購入することを心掛け多言語化を計った。	A: 達成された(85%以上)	数値目標を上回ったため、Aとした。	B: 現状維持	限られた予算内では単価の高い外国語資料の購入数を大幅に増やせる見込みが立たないため、寄贈資料を活用し、受入点数を増やしていく。		
93	95			(1) 学習が困難な人に対する支援	1-2-3-1-02	若者自立支援ルーム	青少年育成課	社会生活を送る上で困難を抱える若者に対し、「若者自立支援ルーム」において、自立に向けた様々なプログラムの実施や地域社会との関わりを促すことにより、円滑に自立が果たせるよう支援を行う。	若者自立支援ルームにおいて、利用者の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、円滑な自立が果たせるよう支援を行い、年間延べ利用者数が、8,837人となった。	A: 達成された(85%以上)	目標の利用者延べ人数8,800人に対し、8,837人の実績となり、目標を上回ったため。	A: 拡大・充実	引き続き、利用者へ個々の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、自立に向けた支援を行うとともに、令和2年度より、2か所目の若者自立支援ルーム事業を運営するための開設準備を行い、受入れ体制を拡充する。		



生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績	③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由
94	96	I学べる	2	(3)学習環境の整備	②計画に基づく施設整備	1-2-3-2-02	生涯学習関連施設の充実	生涯学習総合センター、中央図書館など	公民館や図書館をはじめとした生涯学習関連施設について、施設の機能を適切に維持し、長寿命化を図るとともに、利用者の安心・安全を確保するため、適切な維持管理や改修工事を計画的に実施する。	公民館及び図書館では、「さいたま市公共施設マネジメント計画・第1次アクションプラン」との整合性を図りながら、安全・安心な学習環境を整備するため、施設改修を行った。公民館では、「公民館施設リフレッシュ計画」に基づき、施設改修を1館で実施した。図書館では、「図書館施設リフレッシュ計画」に基づき、施設改修を2館、エレベーター更新工事を1館で実施した。	A: 達成された(85%以上)	修繕による適切な維持管理やリフレッシュ計画に基づく設計・工事を完了したことからAとした。	B: 現状維持	引き続き、リフレッシュ計画に基づき、老朽化した公民館・図書館の改修工事等を計画的に進めるためBとした。
95	97					1-2-3-2-03	図書館の整備	中央図書館管理課・資料サービス課・大宮図書館	・建設準備を進めている大宮区役所新庁舎内に、新大宮図書館を整備する。	・移転準備として、資料へのICタグの貼付を1月から開始し、3月末を完了した。 ・11月から新大宮図書館の文化施設の予約受付を開始した。 ・指定管理者と定期的に運営に関する打合せを行った。	A: 達成された(85%以上)	概ねスケジュールどおり事業が進行し、3月末に竣工した。事業者との打合せも順次行い、令和元年5月の移転・開館準備が整った。	F: 廃止・休止	令和元年5月7日に移転・開館したため。
96	98				1-2-3-3-02	レファレンスサービスの充実	図書館	レファレンスサービスを支える資料の充実に努める。また、継続的に職員研修を行い、調査技術の向上を目指す。市民の関心が高い様々なテーマについて、資料の探し方や使い方をまとめたパスファインダーを発行する。寄せられたレファレンスの質問のうち、さいたま市に関する事例や問い合わせの多い事例については、国立国会図書館の運営するレファレンス協同データベースに登録して市民が閲覧できるようにする。パスファインダーや資料紹介についてもホームページに掲載し、課題を解決する手がかりを増やしていく。	・レファレンス協同データベースにレファレンス事例を188件登録し、市民がホームページで閲覧できるようにした。 ・パスファインダーを21タイトル作成した。 ・レファレンス研修会を13回開催した。	A: 達成された(85%以上)	目標値の129,200件を上回ったため、Aとした。	B: 現状維持	研修を通して業務に必要な知識を習得することで多様なレファレンスに対応する。	
97	99				1-2-3-3-03	関連機関(公共機関・民間機関・NPO)との連携	図書館	県立図書館や県内市町村立図書館と連携し、相互貸借による希少な資料の提供や、地域資料などの分担収集・保存を行う。また、大学図書館や研究機関と連携し、より専門的な調査の充実を図る。市の関連部局との協力や、保育園・学校・博物館・美術館などの教育・文化・福祉施設と連携した事業を行う。	引き続き、市の関係部局との協力や、保育園・学校・博物館・美術館などの教育・文化福祉施設と連携した事業を行う。	A: 達成された(85%以上)	目標値を上回ったため。	B: 現状維持	引き続き、市の関係部局との協力や、保育園・学校・博物館・美術館などの教育・文化福祉施設と連携した事業を行う。	
98	100				1-2-3-3-04	多様な市民ニーズに応える図書館機能の充実	図書館	市民ニーズに応える資料を収集・保存するとともに、市民の課題解決に役立つサービスの充実とPRIに努める。	・個人貸出点数: 9,689,251点 ・図書資料受入数: 125,092点 ・電子書籍の所蔵数: 7,878タイトル ・地域資料デジタル化の所蔵数: 105冊 ・図書館のホームページから各館のテーマ展示を紹介する情報を発信	A: 達成された(85%以上)	平成30年度における個人貸出数は、目標数値には及ばなかったが、96.1%となり、前年度の数値も上回っている。	B: 現状維持	令和元年度は、施設修繕による休館が1館にとどまるとともに、大宮図書館の移転開館によるサービスの向上、また、電子書籍の購入やICタグ等を4館に導入するなど対策を行っていくことで現状維持を図っていく。	
99	101			④ICT(情報通信技術)の活用	1-2-3-4-01	ICT(情報通信技術)を活用したサービスの充実(再掲)	図書館	図書館ホームページを充実させ、情報提供サービスの利便性を向上させる。また、データベースの利用技術の講習などを行い、市民の情報収集能力の向上を図る。	・各館のテーマ資料展示の様子や、ブックリストをホームページに掲載した。 ・国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスを実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標値の92%に達したため、Aとした。	B: 現状維持	継続して幅広い情報提供の機会を提供するため。(平成30年度9月より無線LANの提供が「さいたま市図書館公衆無線LAN」から「Saitama City Free Wi-Fi」に変更になったため評価指標を図書館で提供している「インターネットの延利用人数」に変更した。)	
新規	102	II活かせる	1	(2)地域活動のための人材育成	①学習成果の評価	2-1-1-1-01	「自分発見！」チャレンジupしたま	生涯学習振興課	小学生から18歳までの青少年が体験活動・ボランティア活動を行うことで、可能性を伸ばすとともに、豊かな人間性を培い、社会性やコミュニケーション能力の向上を図ることにより、青少年の主体的な社会参画を促進する。	児童生徒一人ひとりの興味・関心に応じた催しへの参加による、様々な体験を通して、児童生徒の得意なこと、自信のあることを伸ばし、得意分野の形成を図る。	-	【平成30年度は「自分発見！」チャレンジさいたま事業として実施】児童生徒一人ひとりの興味・関心に応じた催しへの参加による、様々な体験を通して、児童生徒の得意なこと、自信のあることを伸ばし、得意分野の形成を図った。	A: 拡大・充実	対象者を市立小・中・特別支援学校の児童生徒から市内在住・在学の小学生以上18歳まで拡大し、体験活動に加えボランティア活動を対象事業としたため。
100	103				2-1-2-1-01	地域ICT人材育成事業	情報政策部 ICT政策担当	だれもが、簡単・便利にICTによる恩恵を受けられ、また、ICTの活用による地域活力向上を図るため、地域ICT人材の育成を図るなど、市民間の情報格差解消に向けた取組を進める。	地域ICTリーダを講師とする講座を24回開催、地域ICTリーダスキルアップ講座を8回開催しました。	D: 達成されていない(50%未満)	PCの貸出回数により地域ICTリーダが独自に行う活動の回数を把握しているが、PCの貸出回数が減少し、数値目標を達成できなかった。	C: 見直し	PC貸出回数が減少している理由を見極め、今後の事業の方向性を見直していく必要がある。	
101	104				2-1-2-1-02	手話通訳者養成講習会	障害支援課	聴覚障害者の自立を支援し、社会参加を主体的に行えるようにするため、手話語彙、手話表現技術及び基本技術を習得した手話通訳者を養成する講習会を開催する。	手話通訳者養成講習会開講時人数 ①(通訳Iコース)大宮午前、大宮夜間 合計18名 ②(通訳IIコース)浦和、大宮 合計18名	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	数値目標は下回ったものの、目標の80%以上に達したため。	A: 拡大・充実	さいたま市における手話通訳派遣依頼に対する登録手話通訳者の数がまだ不足しているため	
102	105				2-1-2-1-03	要約筆記者養成講習会	障害支援課	手話の理解できない聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度の理解と認識を深めるとともに、要約筆記を行うために必要な知識及び技術を習得するための講習会を開催する。	要約筆記者養成講習会開講時人数 13名	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	数値目標は下回ったものの、目標の65%以上に達したため。	A: 拡大・充実	さいたま市における要約筆記派遣依頼に対する登録要約筆記者の数がまだ不足しているため	
新規	106				2-1-2-1-04	応急手当講習	救急課	応急手当の重要性、心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ講習	1,256回の応急手当講習を実施し、47,627人が受講した	A: 達成された(85%以上)	小学校5、6年生が救命入門コースを受講したことにより数値目標を達成したため。	A: 拡大・充実	目標としていた受講者数を達成したため目標人数を上方修正し、拡大した。	

生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
103	107	2	成果を活かす仕組みづくり	(1)学習成果の活用機会の拡充	①学習成果の発表機会の拡充	2-2-1-1-01	さいたま市消費生活展の開催(再掲)	消費生活総合センター	市内で自主的に活動している消費者団体に日頃の活動・研究の成果を発表する場を提供するとともに、事業者団体の参加も得て、広く消費生活情報を提供し消費生活に関する啓発を図る。	さいたま新都心駅自由通路で、「あなたもわたしもみんな消費者～みんなの好奇心で未来は変わる」をテーマに、第18回消費生活展開催。消費生活に関するパネル展示、クイズラリー、ステージイベントなど。参加団体19、来場者数約5,200人。	A:達成された(85%以上)	消費者団体の成果発表の機会を提供することができた。また、ステージイベントやクイズラリーにより、目標を上回る来場者数を確保し、多くの方に対し、消費生活について啓発を図ることができたため。	B:現状維持	消費生活に関する諸問題の解決には、消費者団体や事業者団体と連携を図る必要があるため、引き続き成果発表の場を確保するとともに、広く一般市民への啓発を行う機会であるため。	
104	108					2-2-1-1-02	市民ギャラリーの活用	文化振興課	文化芸術活動を行う市民または団体、及び一般市民を対象に、身近な場所で成果発表の場や鑑賞機会の提供をできる機会を設ける。	文化芸術活動を行う市民または団体を対象として、市役所東側広場にある市民ギャラリーを1週間単位で貸し出し、日頃の活動成果発表の場や鑑賞機会を提供した。	A:達成された(85%以上)	目標値には達しなかったが、目標値の90%を超えたため。	B:現状維持	市民ギャラリーは日頃の文化・芸術活動の作品を展示する身近な場所であり、事業を継続していくことで更なる文化・芸術活動の推進を図るため。	
105	109					2-2-1-1-03	ユーモアフォトコンテストの実施(プラザノース)	文化振興課	写真講座への参加者が応募できる1つの機会として、ユーモアフォトコンテストを実施する。	①11/3～11「さいたま市ユーモアフォトコンテスト(展示)参加1,675人(国際漫画フェスティバル等含む) ②11/3・4(計4回)「プロカメラマンの見る世界 もっとカメラを楽しむ方法!講座」参加48人 ③11/10「鉄道写真家・中井靖也トークショー『カメラは魔法の小箱です!』」参加107人 ④9/27～11/11「ユーモアフォトコンテスト歴代入賞作品展」(人数カウントなし)	A:達成された(85%以上)	応募者数、応募作品は減少した。しかし、会場内レイアウト変更、トークショーとの連動等が奏功し、参加者増となった。	A:拡大・充実	事業内容はさいたま市の文化を発信するものとして重要であり、引き続き応募者数・作品点数、イベント・展示参加者増を目指し周知方法の強化に努める。	
106	110					2-2-1-1-04	さいたま市民文芸の発刊	文化振興課	市内在住・在勤・在学対象の公募。詩、短歌、俳句、川柳、小説・随筆・評論の5部門で作品を募集し、入選作品を掲載した「さいたま市民文芸」を刊行する。	市内在住・在勤・在学対象の公募。詩、短歌、俳句、川柳、小説・随筆・評論の5部門で作品を募集し、入選作品を掲載した「さいたま市民文芸」を刊行した。	A:達成された(85%以上)	目標数値には達しなかったが、市内全区より応募があり、目標数値の90%は超えたため。	B:現状維持	市民の文芸作品発表の場としてのニーズは高く、引き続き継続することが望ましい。	
107	111					2-2-1-1-06	さいたま市美術展覧会の充実	文化振興課	市民の美術思想の普及と創造的表現力の開発を図り、もって本市の文化芸術の振興に寄与するため開催する。日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門で市民から作品を募集し、選考の上、3期にわけて展示する。第1期～第3期終了後、上位の受賞作品を展示する選抜展を開催する。	第1期:10月8日(祝)～14日(日)日本画・彫刻・写真 第2期:10月16日(火)～21日(日)工芸・書 第3期:10月23日(火)～28日(日)洋画 選抜展:10月30日(火)～11月4日(日) 会場…うらわ美術館	A:達成された(85%以上)	目標値には達しなかったが、目標値の85%を超えたため。	B:現状維持	事業の実施内容に大きな変更がないため	
108	112					2-2-1-1-07	ジュニアソロコンテストの開催	文化振興課	小・中学生を対象とした、金管バンド・吹奏楽で使われる管楽器・打楽器・コントラバスのソロコンテストを開催する。	応募期間:平成30年11月15日～12月22日 予選:平成31年2月2日、3日 本選:平成31年2月17日 会場…予選:市内コミュニティセンター、本選:プラザイースト	A:達成された(85%以上)	目標を上回る来場者数となったため。	B:現状維持	コンテストの認知度も高まり、規模も大きくなってきたため、引き続き現状の応募者数を維持することが望ましい。	
109	113					2-2-1-1-08	市民音楽祭の開催	文化振興課	音楽の普及発展と市民の芸術への参加意欲を喚起する目的で開催される市民音楽祭の開催を支援する。	開催日:10月28日(日) 会場:文化センター	A:達成された(85%以上)	目標値には達しなかったが、目標値の90%を超えたため。	B:現状維持	事業の実施内容に大きな変更がないため	
110	114					2-2-1-1-09	シルバー作品展示会事業	高齢福祉課	60歳以上の方を対象に、作品(書・絵画・写真・手工芸・文芸(俳句・短歌・川柳等))を公募し、市内2会場で作品展示会を開催する。	(浦和会場)埼玉会館第3展示室 日時:平成30年11月14日(水)～平成30年11月16日(金)  (大宮会場)プラザノース ノースギャラリー 日時:平成30年12月5日(水)～平成30年12月7日(金)	A:達成された(85%以上)	展示目標700点に対し実績が619点であり、85%以上を達成したため。当事業により高齢者の創作意欲が高まり、生きがいにつながっていると考えられるため。	B:現状維持	高齢者の豊かな経験と能力を活かした作品を広く市民に知っていただき、さらに創作意欲を高め、生きがいにつなげるため。	
111	115					2-2-1-1-10	公民館文化祭	公民館	地域住民の交流と文化の向上を目的として、公民館で活動する文化団体・サークルを中心とした文化祭を実施する。	公民館において、文化祭を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
112	116					2-2-1-1-11	若田名誉館長杯ロボット大会	青少年宇宙科学館	ローバーロボット大会:1チーム2名で参加。火星探査をイメージしたローバー(探査)ロボットでミッションをクリアし、ゴールを目指す。 キャリアシュートロボット大会:1チーム2～3名で参加。制限時間内にボールを所定の場所に入れ得点を競う。	ローバーロボット大会2018 ・実施日:平成30年8月26日(日) ・対象:小学校4～6年生、中学生 ・参加人数:小学校の部 20チーム40人 中学校の部 23チーム46人 ・内容:2人1組でチームを組み、レスキュークローラー工作のキットをもとにロボットを製作し、2回の試技を行って合計の時間で勝敗を競う。	A:達成された(85%以上)	・参加者のアンケートによると、「とても楽しかった・とてもがんばった」、「楽しかった・がんばった」の評価が、小学校では100%、中学校では87%あった。	B:現状維持	令和元年度はキャリア・シュートロボット大会を実施予定。会場の規模に鑑みて、現在の参加人数、活動内容は適正なものと考えられる。	
113	117					2-2-1-1-12	展示室の貸し出し	うらわ美術館	絵画や工芸などの美術作品を創作している市民の発表の場として、展示室の貸し出しを行っている。	平成30年4月前半と平成31年3月に延べ7週間にわたり、一週間単位でA・B・C・Dの4展示室の貸し出しを行った。利用は、延べ12団体の利用があった。	B:ほぼ達成された(70%以上85%未満)	前年度利用している団体の都合がつかず利用がなかったが、新規団体の確保ができたことから、目標がほぼ達成されたため。	B:現状維持	利用申請の増減の波があるが、毎年美術作品を創作している市民団体等の発表の場として利用されていることから、利用率を上げる努力をしながら事業を維持していきたい。	
114	118					2-2-1-1-13	区の花バラの写真展	中央区コミュニティ課	さいたま市在住、在勤、在学の方を対象に、中央区内で撮影した「バラ」の写真を募集し、中央区役所ロビーに展示するとともに、優秀な作品について表彰を行う。	161作品の応募があり、入賞及び入選作品を区役所ロビーにて展示、ホームページに掲載しました。	A:達成された(85%以上)	目標の応募作品数が達成されたため。	B:現状維持	昨年度をベースに実施予定のため。	



生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
115	119	II	成果を活かす仕組みづくり	(1) 学習成果の活用機会の拡充	②生涯学習関連施設等での人材活用促進	2-2-1-2-01	体験学習ボランティア活用事業	博物館(市立博物館)	小学生を対象とした体験学習で、昔の道具の使い方や昔の暮らしについての説明と体験の補助をするボランティアを活用する。	小学校25校の体験学習の受入れを行い、昔の道具や暮らしについての学習を補助において、ボランティアを活用した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標を上回り、ボランティアを活用できたため。	B: 現状維持	小学校の体験学習において、ボランティアを活用できているため。	
116	120					2-2-1-2-02	ボランティアの活用	生涯学習総合センター・公民館	公民館の講座・事業において、ボランティアを活用する。	生涯学習総合センター及び各公民館において、生涯学習相談・おもちゃの病院・公民館だより編集事業でボランティアを活用した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
117	121					2-2-1-2-03	読書ボランティアの養成と支援	図書館	初心者向けの養成講座や活動中のボランティア向け講座などを実施し、子どもと本を結びつけるために必要な知識・技術の習得や、活動の充実と活性化のため、支援を行なう。	・ストーリーテリング入門/実践講座 ・読み聞かせスキルアップ講座 ・おはなしスタッフ養成講座 ・小学校の読み聞かせボランティア指導	A: 達成された(85%以上)	目標値を上回ったため。	B: 現状維持	継続してボランティア育成及び支援を行う必要があるため。	
118	122					2-2-1-2-04	農作業体験の充実	博物館(浦和くらしの博物館民家園)	市民ボランティアの体験学習の場として園内の畑でさいたま市ゆかりの作物を育成するとともに、民家園内の景観を維持する。	ボランティアが園内の畑で作物の育成を行い、園内の景観を維持するとともに、子ども農作業体験講座の指導に生かす充実させることができた。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	延べ参加人数が目標を下回ったものの、72%の達成率であったため。	B: 現状維持	活動により園内の景観が維持され、また事業にも生かされているため。	
119	123					2-2-2-1-01	シルバーバンク事業	高齢福祉課	地域の中でさまざまな活動を通して活躍することを希望する60歳以上の市民等を対象とした人材バンクで、専任のコーディネーターが、人材と、人材を求める活動の場とのマッチングを行う。	シルバーバンクに登録している60歳以上のボランティア活動を希望する方と、ボランティア人材を募集する施設や団体とのマッチングを行いました。 ・マッチング成功数 815人	A: 達成された(85%以上)	評価指標(マッチング成功数)について、目標700件に対して実績が815件であり、達成度は116%であるためAとした。	D: 統廃合	セカンドライフ支援センターを令和元年9月に開設し、ボランティアマッチングのほかに就労、余暇活動など様々な情報を提供する窓口に変更するため。	
120	124	2-2-2-1-02	生涯学習人材バンク事業	生涯学習振興課	生涯学習に関する専門的な知識や技能、経験等を有している人材の情報を公開し、学習したい利用グループに紹介する。	生涯学習情報システムで登録者情報を公開するとともに、生涯学習人材バンク登録者名簿を作成し、公民館、図書館、各区情報公開コーナー等に配布した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	シニアユニバーシティやチャレンジスクール、公共施設等に利用依頼を行うなど様々な周知を図った結果、マッチング数が136件となり目標を上回ったため。	B: 現状維持	引き続き周知に努め、マッチング件数の増加を目指す。					
121	125	III	学びでつながる	(1) 学びの仲間づくり	①学習による仲間づくり	3-1-1-1-01	シニアユニバーシティ	高齢福祉課	60歳以上の高齢者を対象に、1年制の大学及び大学院を実施。講義やイベントを通じて学生間の親睦を図り、地域の仲間づくり、社会参加、生きがいづくりを推進する。	市内在住の60歳以上の方を対象としたシニアユニバーシティを実施しました。また、卒業生で構成される校友会連合会に補助金を交付しました。 ・卒業生数 大学 369人 大学院 349人	A: 達成された(85%以上)	評価指標(参加者の事業満足度)について、目標83%に対して実績が90.4%であり、達成度は109%であるためAとした。	B: 現状維持	高い満足度を得られている事業であり、引き続き多くの高齢者が受講することで、生きがいづくりを促進する。	
122	126					3-1-1-1-02	会津高原の夏・家族の集い	館岩少年自然の家	市内在住、在勤の家族を対象とした主催事業。館岩少年自然の家を中心に様々な自然体験活動や集団宿泊体験を行うことで、南会津の雄大な自然を満喫し、家族・親子の絆を深め、参加者相互の交流を図ることを目的とする。	15家族総数38名(保護者21名、小学生14名、中学生3名)の参加があった。	A: 達成された(85%以上)	アンケートの集計結果のほとんど大変満足で、満足の理由が悪天候の理由だったため	A: 拡大・充実	毎年同じ内容では参加する家族が減少するため、活動内容を充実させる。	
123	127					3-1-1-1-03	白銀の会津高原・家族の集い	館岩少年自然の家	市内在住、在勤の家族を対象とした主催事業。自然豊かな南会津の地において、雪国の生活や雪中活動にふれ、感動を共有し、家族の絆を深め、参加者相互の交流を図ることを目的とする。	17家族総数48名(保護者23名、小学生20名、中学生5名)の参加があった。	A: 達成された(85%以上)	アンケートの集計結果が全て次回参加したいだったため	A: 拡大・充実	毎年同じ内容では参加する家族が減少するため、活動内容を充実させる。	
124	128					3-1-1-2-01	若者自立支援ルーム(再掲)	青少年育成課	社会生活を送る上で困難を抱える若者に対し、「若者自立支援ルーム」において、自立に向けた様々なプログラムの実施や地域社会との関わりを促すことにより、円滑に自立が果たせるよう支援を行う。	若者自立支援ルームにおいて、利用者の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、円滑な自立が果たせるよう支援を行い、年間延べ利用者数が、8,837人となった。	A: 達成された(85%以上)	目標の利用者延べ人数8,800人に対し、8,837人の実績となり、目標を上回ったため。	A: 拡大・充実	引き続き、利用者へ個々の状態に合わせた自立支援プログラムを段階的に実施し、自立に向けた支援を行うとともに、令和2年度より、2か所目の若者自立支援ルーム事業を運営するための開設準備を行い、受入れ体制を拡充する。	
125	129					3-1-1-2-02	子育てサロンの充実	生涯学習総合センター・公民館	都市化・核家族化に対応し、親子で気軽に参加できる親子の遊びの広場である子育てサロンを設置する。	生涯学習総合センター及び各公民館において、子育てサロンを開催した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	

生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
126	130	Ⅲ つながる	1	学びでつながる	③活動団体の交流促進	3-1-1-3-01	市民活動サポートセンターにおける市民活動支援の充実	市民協働推進課	NPOやボランティア団体などの活動を支援するための拠点施設である市民活動サポートセンターの管理運営を行い、市民活動支援を実施する。	「団体紹介パネル展示」夏 参加団体:9団体 冬 参加団体:14団体 「市民活動サポートセンターフェスティバル」(3月2日～3月3日) 参加団体:51団体 来場者数:6,022人 「共創社会づくりの担い手フォーラム(埼玉県との共催)」(11月20日) 参加人数:88人 「セミナーの開催」 「オリンピック・パラリンピックのボランティアで地域を盛り上げよう！」(8月2日) 参加人数:35人 「市民活動団体のための広報セミナー」(10月30日・11月13日) 参加団体:3団体 参加人数:4人 「セカンドライフセミナー」(3月12日・3月15日) 参加延べ人数:51人 「NPO法人設立セミナー」(5月25日・8月30日・11月29日) 参加延べ人数:52人 「ファンドレイジングセミナー(埼玉県との共催)」(7月26日・9月12日・10月17日・1月18日) 参加延べ人数:136人 ・市民活動団体を対象とした「会計事務相談」、「法律相談」を計53回開催 相談件数:105件	A:達成された(85%以上)	目標に対し、100.2%の達成率となったため。	B:現状維持	市民活動をより活性化させるため、引き続き交流イベントやセミナー等を実施していく。	
127	131					3-1-1-3-02	公民館文化祭(再掲)	公民館	地域住民の交流と文化の向上を目的として、公民館で活動する文化団体・サークルを中心とした文化祭を実施する。	公民館において、文化祭を実施した。	A:達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B:現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。	
128	132					3-1-2-1-01	スクールサポートネットワーク推進事業	生涯学習振興課	事業の中心的な役割を担う学校地域連携コーディネーターを市立小・中・特別支援学校へ配置するとともに、スクールサポートネットワーク協議会(SSN協議会)を設置し、学校と地域諸団体等との情報の共有化、より多くの幅広い地域住民、団体等が学校と協働して行う地域学校協働活動、学校支援ボランティアによる教育支援活動を行う。	学校地域連携コーディネーターに対する研修会を4回、情報交換及び協議を5回実施した。また、教育委員会が発行した「スクールサポートネットワーク(地域学校協働本部)ガイドブック」を活用することで、より多くの幅広い地域住民、団体等が学校と協働して行う地域学校協働活動の充実を図った。	A:達成された(85%以上)	さいたま市学習状況調査における、「保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか」の質問に、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答して、目標の85%以上を達成したため。	A:拡大・充実	学校と地域の連携・調整や多様な活動の企画・調整等を担う学校地域連携コーディネーターを配置するとともに、より多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画したスクールサポートネットワークによる地域学校協働活動を推進するため。	
129	133	3-1-2-1-02	チャレンジスクールの推進	生涯学習振興課	地域社会の中で、子どもたちを心豊かで健やかにたくむことを目的に、土曜日や放課後等に学校の教室等を活用して、より多くの幅広い層の地域住民、団体等の参画を得て、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの自主的な学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の多様な活動の機会を提供するチャレンジスクールを推進する。	小学校において、放課後チャレンジスクールを2,638回、土曜チャレンジスクールを1,569回実施し、延べ参加児童生徒数は163,087人でした。また、中学校において、土曜チャレンジスクールを1,136回実施し、延べ参加児童生徒は22,202人でした。	A:達成された(85%以上)	延べ参加児童生徒数が185,289人であり、目標の85%以上を達成したため。	A:拡大・充実	民間の活力を導入した学習活動や体験活動のプログラムを活用するチャレンジスクールを拡大するため、プログラム提供の仕組みを整えたとともに、事業が円滑に行えるよう学校や関係所管課との連携を図る。また、円滑に実施するため、ボランティアの確保に努める。					
130	134	3-1-2-1-03	PTA活動との連携	生涯学習振興課	PTA活動の振興とその円滑な事業推進を目的として、社会教育関係団体補助金を交付する。	補助金交付:1,650千円	A:達成された(85%以上)	補助金交付により、PTA活動の振興と円滑な事業推進に貢献している。	B:現状維持	子どもたちの健全育成のため、学校・家庭・地域の連携は重要であり、その要となるPTA活動に対し、引き続き支援していくことは必要である。					
131	135	3-1-2-2-02	学校巡回展	博物館(市立博物館)	市内小学校を対象に社会科・生活科に対応するテーマのパネルや実物資料を1週間程度巡回展示する。	市内小学校で5つのテーマ展示を行い、写真パネルや実物資料を展示した。小学校での授業に活用されるなど、学習活動の充実を支援することができた。	A:達成された(85%以上)	数値目標を上回り、学校巡回展の実施を行ったため。	B:現状維持	市内小学校において学校巡回展を実施することによって、さいたま市の歴史や実物資料に児童が触れることができるため。					
132	136	3-1-2-2-03	学校図書館との連携	図書館	学校図書館支援センターを通じて、資料や情報提供による学校図書館への支援と連携を進める。	平成29年度の事業を継続し、市立小・中・高等学校、特別支援学校、教育相談室へネットワーク便を活用した団体貸出事業を行った。	A:達成された(85%以上)	申込件数は、減少したが88%達成した。	B:現状維持	学校図書館の資料の充実により、申込件数に減少が見られるが、不足が予測される資料を重点的に購入して支援と連携を続けることが必要であるため。					
133	137	3-1-2-2-04	小学校4年生 中学校3年生 学習利用	青少年宇宙科学館	プラネタリウムを活用した学習で天体の動きを視覚的にとらえ、天体に関する理解を深める。また、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、天文や科学について興味・関心を高めながら理科学習を行う。全ての市立小・中・特別支援学校の児童生徒が悉皆学習として取り組んでいる。	・実施期間:平成30年6月26日(火)～平成31年2月13日(水) ・会場:青少年宇宙科学館、宇宙劇場 ・実施校:全ての市立小・中・特別支援学校 ・内容:天体の動きを視覚的にとらえ、宇宙の素晴らしさを体感できる学習番組、科学館職員による今夜の星空解説、若田宇宙飛行士からのメッセージ	A:達成された(85%以上)	・各学校が提出する実施報告書の「A」「B」評価(4段階)が、小学校は「興味・関心」「内容の理解」「科学館職員の説明」が100%と高い評価を得た。中学校も、「興味・関心」「科学館職員の説明」が100%、「内容の理解」が98%と高い評価を得た。	C:見直し	令和2年度の小学校新学習指導要領の完全実施に伴い、指導内容の見直しを行う必要がある。					
134	138	3-1-2-2-05	スクール・サポート・サイエンス事業	青少年宇宙科学館	さいたま市立小・中学校に青少年宇宙科学館の職員を派遣し、理科の基礎的・基本的な内容を踏まえた授業や、天文に関する発展的な学習についての指導支援を行っている。	・実施期間:平成30年11月13日(火)～平成31年2月28日(木) ○出前理科授業 小学3年:電気や光の実験 8校実施 小学6年:地球にやさしいエネルギーを紹介する実験 6校実施 参加者数 1,268人	A:達成された(85%以上)	・応募校数(総数):44校(前年度29校) ・実施校(抽選):23校(同19校) ・出前事業では、普段の授業では扱えない実験や体験を実施した。 実施報告書の「A」「B」評価(4段階) 小3:100%、小6:100%(同 小3:100%、小6:100%)	C:見直し	令和2年度の小学校新学習指導要領の完全実施に伴い、指導内容の見直しを行う必要がある。					
135	139	3-1-2-2-06	サイエンスフェスティバル	青少年宇宙科学館	さいたま市内の中学校・高等学校の科学部が集まり、屋台形式の科学的なものづくりワークショップを来館者に体験していただく機会を設けることで、中学生の活躍の場の提供と活動に対する成就感を味あわせる。	・実施日:平成31年2月3日(日)、2月10日(日) ・参加校:市立高等学校 2校、市立及び市内中学校 11校 ・参加人数:151人(前年度142人) ・内容:中学校、高等学校の科学部、技術部等が提供するサイエンスショーや科学的なものづくり体験	A:達成された(85%以上)	・来館者数(発表者を含む) 2月3日(日)1,205人 2月10日(日)1,613人 合計2,818人 ・参加者のアンケートでは「とてもできた」、「できた」の評価が96%であった。また、来年度「ぜひ参加したい」、「できれば参加したい」の評価も94%と高い評価を得た。	B:現状維持	会場の規模に鑑みて、現在の参加校数、参加人数、来館者数、活動内容は適正なものと考えられる。					
136	140	3-1-2-2-07	中高生科学館ボランティア	青少年宇宙科学館	特別企画展『ワクワクものづくり教室』の運営を担う博物館実習生と共に、小学生対象のものづくりを支援することにより、科学館の活動についての理解を図り、中学生・高校生との連携を深めるとともに、青少年の健全育成に努める。	・実施期間:平成30年7月21日(土)～8月24日(金) ・対象:中・高等学校の生徒 ・参加人数:98人 ・内容:企画展『夏休み子ども科学館まつり』の運営補助、切り絵ワークショップの運営補助	A:達成された(85%以上)	・参加者のアンケートでは「とてもできた」、「できた」の評価が96%であった。また、来年度「ぜひ参加したい」、「できれば参加したい」の評価も96%と高い評価を得た。	B:現状維持	『夏休み子ども科学館まつり』の日程、内容等と照らし合わせて、現在の募集人数や活動内容は適正なものと考えられる。					



生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績	③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由
137	141	1	学びでつながる	(2) 地域が支える教育の充実	③市民・事業者等との連携	3-1-2-3-01	大学公開講座の充実	生涯学習振興課	市内の大学や短期大学の持つ機能を市民に開放し、地域と大学の連携を図るとともに、市民の高度で専門的な学習要求に応えるため講座を設置する。	①埼玉大学「アジア経済・社会への誘い(全6回) ②聖学院大学「共に生きる社会を創る」(全10回) ③芝浦工業大学「さいたま市の目指すおもてなし」(全3回)など ④国際学院埼玉短大「身近な食材で健康料理」(4回)など ⑤目白大学「高齢者に役立つリハビリテーションの知識と技術Part2」(全10回) ⑥浦和大学「音楽のレシピ～楽器の旅を通して～」など	A: 達成された(85%以上)	大学の持つ教育資源を生かした、高度で専門的な講座を開設することができた。	B: 現状維持	今後も市民の持つ高度かつ専門的な学習意欲に応えられるような講座を開設していくため、各大学に働きかけを行い、魅力ある講座を設置していく予定である。
138	142					3-1-2-3-02	さいたま市消費生活展の開催(再掲)	消費生活総合センター	市内で自主的に活動している消費者団体に日頃の活動・研究の成果を発表する場を提供するとともに、事業者団体の参加も得て、広く消費生活情報を提供し消費生活に関する啓発を図る。	さいたま新都心駅自由通路で、「あなたもわたしもみんな消費者～みんなの好奇心で未来は変わる」をテーマに、第18回消費生活展開催。消費生活に関するパネル展示、クイズラリー、ステージイベントなど。参加団体19、来場者数約5,200人。	A: 達成された(85%以上)	消費者団体の成果発表の機会を提供することができた。また、ステージイベントやクイズラリーにより、目標を上回る来場者数を確保し、多くの方に対し、消費生活について啓発を図ることができたため。	B: 現状維持	消費生活に関する諸問題の解決には、消費者団体や事業者団体と連携を図る必要があるため、引続き成果発表の場を確保するとともに、広く一般市民への啓発を行う機会であるため。
139	143					3-1-2-3-03	文化事業の開催	図書館	ボランティアや市民団体との協働により、市民のアイデアを生かした事業を企画・開催し、市民の文化活動や読書活動を支援する。	・講座、講演会、映画会、展示会などを開催し、アンケートにより市民のニーズの把握に努めた。 ・読み聞かせボランティアによるおはなし会、図書館友の会の企画による講座などを実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標値を上回ったため。	B: 現状維持	引き続き、市民のニーズの把握に努め、実施していく。
140	144					3-1-2-3-04	図書を通じた関連団体との連携	図書館	朗読、読み聞かせ、映画上映などを行うボランティア団体及び図書館友の会などの図書館活動を支える市民と連携した活動、共催事業を実施する。また、地域との協働を積極的に進め、地域コミュニティの中での図書館の可能性を広げるとともに、市民参加を促す活動を行う。	図書館友の会などボランティアの協力により、おはなし会や講座の開催、録音図書や点字図書の複製、図書の修理、書架の整理など、市民参加による活動を行った。	A: 達成された(85%以上)	目標値の91%に達したため、Aとした。	B: 現状維持	引き続き、関連団体と連携していく。
新規	145					3-1-2-3-05	大学コンソーシアムさいたま加盟大学の公開講座	行財政改革推進部	市民等の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるため、各大学が共通のテーマを設定し、また各々の特色を活かし、大学コンソーシアムさいたま加盟大学が実施する公開講座について、広報等の支援を行う。	①埼玉大学「埼玉大学連続市民講座part9「現代社会を生きる」」など ②埼玉県立大学「損なわれた関係を正し修復するRJ対話体験会」など ③浦和大学「福祉機器の効果を生かす現場から検証する」など ④人間総合科学大学「「ナト・カリ」の開発」など ⑤芝浦工業大学「親子で作ろうロボットセミナー」など ⑥放送大学「「表現する」とはどのようなことか？」など ⑦国際学院埼玉短期大学「夏に食べたいおもてなし料理」など		新規追加事業	B: 現状維持	大学が実施する公開講座を引き続き支援していくため。
141	146	2	地域づくり・まちづくり	(1) まちづくり学習の推進	①地域の特性を活かした事業の推進	3-2-1-1-01	見沼区ふれあいフェア	見沼区コミュニティ課	①地域の特徴を知る ②地域の食文化を知る ③地域の歴史・文化を知る、市民参加型のイベントを実施。	11/10(土) 郷土芸能や文化活動の発表、模擬店の出店(展)、フリーマーケット、子どもコーナー、スポーツコーナー、車両展示コーナー、小中学生絵画展、スタンブラリー	A: 達成された(85%以上)	参加者アンケート満足度目標指数を達成したため。	B: 現状維持	多くの来場者があり、アンケート結果でも高評価を得られている。また、郷土づくりと郷土意識の醸成及び地域住民の連帯をより一層高めるイベントとして、定着してきていることから、昨年同様に実施する。
142	147					3-2-1-1-02	中央区区民まつり	中央区コミュニティ課	秋の土日2日間、中央区役所周辺を会場とし「コミュニティの輪」をテーマに開催。コミュニティ協議会(コミ協)加入団体の出店・出演を中心に、友好都市の物産販売や多彩なステージが繰り広げられる。	11月10日(土)、11月11日(日)の2日間で開催し、天候にも恵まれ、多くの市民の方に来場していただき、無事に開催できた。	A: 達成された(85%以上)	目標の数値が達成されたため。	B: 現状維持	出店・出演共に昨年度をベースに実施予定のため。
143	148					3-2-1-1-03	区民が企画・運営する生涯学習塾事業	浦和区コミュニティ課	区民が学習したいテーマについて、自ら講座を企画・運営する活動を行う「コミュニティキャンパス浦和」への支援事業である。団体では、テーマごとの部会で企画会議を随時開催し、年に複数回の講座を開催している。また、事務局を中心に全体会議を月1回開催し、総合的な調整をおこなうとともに、年1回程度の公開講座の企画などを行っている。	浦和お宝探検隊 各種講座……11回 親子であそぼう……3回 チャレンジ！科学あそび……5回 ウクレレ講座……6回 大人の科学……4回 スマホ講座……9回 うらわの魅力講座……3回	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標としていた開催回数の90%以上開催することができたが、受講者数が前年を下回ったため。	A: 拡大・充実	運営主体のコミュニティキャンパス浦和より、今年度より、内容の充実を図るため、浦和区市民活動ネットワーク登録団体との連携による講座開催の提案があったため。
144	149					3-2-1-1-04	南区ふるさとふれあいフェア	南区コミュニティ課	南区における区民意識の醸成、及びふるさとへの愛着、並びに地域住民の連帯を深めることを目的とし、地域の関係団体からなる実行委員会により開催する。 【主な取組】 ・アトラクション(ポニー乗馬体験、ミニ新幹線他) ・ステージ(一般団体の発表) ・ブース(一般団体の出店、発表)	10月6日(土) 9時30分～15時開催。 来場者数約53,000人。 主な各催し参加者数 ①ポニー乗馬数400人、②ミニ新幹線乗車数1,262人、③昔あそび約680人、④ドローン体験95人、⑤マジックナイン・シュートゲッター約600人、⑥50m走測定290人	A: 達成された(85%以上)	目標を上回る実績だったため。	B: 現状維持	地域への愛着を深め、世代の垣根を超えた交流の場として、引き続き地域コミュニティの醸成を図っていくため。
145	150					3-2-1-1-05	岩槻やまぶきまつり	岩槻区コミュニティ課	新たな郷土づくりと郷土意識の醸成及び地域住民の連帯をより一層高めることを目的に区民と協働により、各種団体等によるステージ発表・出店・アトラクションを実施する。	10月14日(日)9:30～15:30岩槻文化公園にて開催。 来場者数約50,000人。 商工会議所、農業団体をはじめ、多くの市民団体、サークルの参加のもと展示、販売、ふれあい移動動物園、ミニSLコーナーなど、一時的に雨に見舞われたものの、たくさんの方の催しにより盛大に実施された。	A: 達成された(85%以上)	目標と同等の来場者があったため。	B: 現状維持	区民まつりが定着してきており、引き続き現状どおり実施していくことにより、さらなる地域コミュニティの醸成を図るため。
146	151					3-2-1-1-06	さいたま市内の歴史をあるく	博物館(市立博物館)	市内に残された歴史的な文化財を訪ねて郷土の歴史を再認識するとともに、郷土意識の涵養をはかる。	平成31年2月に実施した与野町の歴史を歩くイベントでは16人、平成31年3月に実施した氷川参道周辺を歩くイベントでは20人の参加があった。通常、見学のできない指定文化財も見学することが出来、また地理的条件からも歴史を学べるため参加者からは次回も参加したいとの声が多かった。	A: 達成された(85%以上)	事業の実施回数を増やしたことにより参加者数の増加を図ることが出来た。	B: 現状維持	回数を増やせば参加者は増やすことは可能だが、定員に満たない回もあった。しかし、見学内容の充実や開催時期等を再検討することでより多くの参加者が見込めるため。
147	152					3-2-1-1-07	区の花バラの写真展(再掲)	中央区コミュニティ課	さいたま市在住、在勤、在学の方を対象に、中央区内で撮影した「バラ」の写真を募集し、中央区役所ロビーに展示するとともに、優秀な作品について表彰を行う。	161作品の応募があり、入賞及び入選作品を区役所ロビーにて展示、ホームページに掲載しました。	A: 達成された(85%以上)	目標の応募作品数が達成されたため。	B: 現状維持	昨年度をベースに実施予定のため。

生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性		
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由		
148	153	2	地域づくり・まちづくり	Ⅲ	つながる	(1) まちづくり学習の推進	②文化財の活用、伝統文化の継承	3-2-1-2-01	市史編さん事業	アーカイブズセンター	さいたま市の歴史の変遷の過程を記録し未来へ継承するため、「さいたま市史」を編さんする。また、歴史資料を収集し、適切に整理・保存するとともに市民共有の知的資源として活用を図る。	・『さいたま市史自然編(気象・地形・地質)』(2,000部)、『さいたま市アーカイブズセンター紀要第3号』(500部)の刊行 ・歴史資料の収集・保存・整理・活用	A: 達成された(85%以上)	目標発刊数を達成したため。	B: 現状維持	さいたま市史編さん基本計画・事業計画のとおり事業を進めるため。
149	154							3-2-1-2-02	伝統文化講座の実施	文化振興課	伝統文化の専門施設で、気軽に伝統文化に親しめるような入門講座を開催する。また、子供を対象とした講座など、伝統文化を継承する人材育成の視点も含めて実施する。	伝統文化2施設において、茶道3事業、能・狂言2事業、華道2事業、琴1事業、日本舞踊1事業、百人一首1事業、伝統文化2事業、地域の文化1事業の計13事業を実施した。	C: あまり達成されていない(50%以上70%未満)	様々な世代を対象に、茶道を中心とした伝統文化講座を開催し、数値目標に対する実績が66.5%のため。	A: 拡大・充実	さいたま市が策定した「さいたま市文化芸術都市創造計画」の基本施策「伝統的・民俗的な文化芸術の継承と発展」をふまえ、今後も拡大・充実をはかっていくため。
150	155							3-2-1-2-03	郷土芸能伝承団体の支援	青少年育成課	青少年を中心に活動している郷土芸能団体に対し、活動を支援する。	当初見込んでいた40団体には届かなかったものの、36団体からの申請があり、補助を行った。	A: 達成された(85%以上)	数値目標の40団体に対し、36団体への交付実績があったため。	B: 現状維持	数値目標を90%達成しているため、引き続き周知を図っていく。
151	156							3-2-1-2-04	大宮薪能の充実	観光国際課	大宮薪能は、東北・上越新幹線の開業を記念し、地域文化振興と新しい観光の創造をめざし、昭和57年5月に第1回を武蔵一宮氷川神社境内で開催したものであり、以来、市民並びに関係者のご協力と会場である武蔵一宮氷川神社の景観のすばらしさにより、回を重ねるごとに好評を博し、国内でも指折りの薪能とまで評されている。	5月25日(金) ・素謡(金春流)翁 金春安明・能(観世流)胡蝶 藤波重彦・狂言(大蔵流)仏師 善竹十郎・能(金春流)土蜘蛛 本田芳樹 5月26日(土) ・素謡(金春流)翁 金春憲和・能(宝生流)花月 藤井雅之・狂言(和泉流)鐘の音 野村万作・能(金春流)葵上 金春安明 開催場所: 武蔵一宮氷川神社境内	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	来場者数は目標数値に達しなかったものの、市民並びに関係者の協力により事業を実施することで、地域交流と地域経済の活性化が図られた。	B: 現状維持	伝統ある大宮薪能を氷川神社で継続開催する。
152	157							3-2-1-2-05	最新出土品展の開催	文化財保護課	さいたま市内で実施された発掘調査による出土品や、調査の様子を紹介する写真を展示。郷土学習の教材として、また埋蔵文化財の理解を深めるために開催。会場は、市内の博物館施設、コミュニティ施設、図書館などで開催している。	平成29年度にさいたま市内で実施された発掘調査による出土品や、調査の様子を紹介する写真を展示。郷土学習の教材として、また埋蔵文化財の理解を深めるために開催。会場は、市立博物館、七里コミュニティセンター、コクーンシティで開催した。	A: 達成された(85%以上)	参加者を10,000と想定していたが、18,423と1.8倍の参加者があり、埋蔵文化財の理解を深めるという目標を達成できたため。	B: 現状維持	埋蔵文化財に関する理解を深めるため、引き続き出土品展を開催し、より多くの市民に埋蔵文化財に触れる機会を提供する。
153	158							3-2-1-2-06	見沼通船堀閘門開閉実演	文化財保護課	平成6年度から平成9年度に整備した国指定史跡「見沼通船堀」を活用し、広く一般の方々に閘門開閉の様子を公開する。	見沼通船堀東縁の再整備工事を実施しているため、閘門開閉実演は休止している。平成30年度については、工事の概要と見沼通船堀の歴史や仕組みを見学しながら説明する「見沼通船堀現地説明会」を事前申込制で実施した。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	開催直前まで小雨が降っていたためか、欠席者が出てしまったが、通船堀の西縁から東縁へ移動しつつ、工事の概要と見沼通船堀の歴史や仕組みを説明し、見学いただいた。	A: 拡大・充実	見沼通船堀東縁の再整備工事も目途が立ち、閘門開閉実演の開催に大きな影響がなくなったことから、実演を再開するため。
154	159							3-2-1-2-07	文化財刊行物の配布	文化財保護課	さいたま市における文化財の普及、啓発、活用を行うため、各種文化財刊行物を作成し、配布する。	文化財時報 1,200部×4号 文化財保護年報 300部 サクソウ自生地パンフレット増刷 10,000部 市内遺跡調査報告書 300部 埋蔵文化財調査報告書 300部	A: 達成された(85%以上)	予定通りの部数を刊行し、博物館等関係機関や市民へ配布を行った。	E: 縮小	パンフレット類の増刷を行わないため。
155	160							3-2-1-2-08	地域の歴史・文化資料の収集・保存	図書館	地域に関する出版物だけでなく、地域のパンフレットやチラシなど図書以外の形態の資料や市民の著作物についても積極的に収集するとともに、地域の記録を残す活動を支援する。また、地域資料などの半永久的な保存と高度な検索を可能にするため、資料のデジタル化を進める。	全庁掲示板などで呼びかけを行い、地域資料の収集・受入を積極的に行った。また、著作権者等に許諾を取ることができた地域資料のデジタル化を行い、インターネット上に公開した。	A: 達成された(85%以上)	数値目標を上回ったため、Aとした。	B: 現状維持	地域資料のデジタル化事業は登録可能な資料については平成30年度でとりえず完了した。今後も関係各所に呼びかけ、地域・行政資料の収集と受入を積極的に行い、維持管理に努める。
156	161							3-2-1-2-09	伝統文化講座・歴史講座の充実	公民館	市民の郷土意識、地域への誇りや愛着を高めることを目的として、伝統文化講座・地域歴史講座を実施する。	公民館において、伝統文化講座・地域歴史講座を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。
157	162							3-2-1-2-10	さいたま子ども短歌賞	生涯学習振興課	市民に広く親しまれている短歌を通して、児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ、伝統的な言語文化の継承を図るため「さいたま子ども短歌賞」を実施する。全国の小・中学生を対象に作品を募集し、表彰を行う。	全国の小・中学生17,240名から37,450首の応募があった。3名の選考委員が全作品から選考を行い、優秀賞20首、入選80首を決定し、入賞者全員を対象として表彰式を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標値に対して参加人数が約115%であったため。	B: 現状維持	今後も市民に広く親しまれている短歌を通して、児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ、伝統的な言語文化の継承を図るため。
158	163							3-2-1-3-01	ユーモアフォトコンテストの実施(ブラザノース)(再掲)	文化振興課	漫画・ユーモアというさいたま市の特長を活かして、ユーモアフォトコンテストを実施する。	①11/3~11「さいたま市ユーモアフォトコンテスト(展示)参加1,675人(国際漫画フェスティバル等含む) ②11/3・4(計4回)「プロカメラマンの見る世界 もっとカメラを楽しむ方法!講座」参加48人 ③11/10「鉄道写真家・中井靖也トークショー『カメラは魔法の小箱です』」参加107人 ④9/27~11/11「ユーモアフォトコンテスト歴代入賞作品展(人数カウントなし)」	A: 達成された(85%以上)	応募者数、応募作品は減少した。しかし、会場内レイアウト変更、トークショーとの連動等が奏功し、参加者増となった。	A: 拡大・充実	事業内容はさいたま市の文化を発信するものとして重要であり、引き続き応募者数・作品点数、イベント・展示参加者増を目指し周知方法の強化に努める。
159	164							3-2-1-3-03	鉄道文化の振興	文化振興課	本市における鉄道の歴史を踏まえ、本市と東日本旅客鉄道株式会社大宮支社が主催する「鉄道のまち大宮 鉄道ふれあいフェア」への参加協力を行うほか、鉄道博物館等との連携を図りながら、鉄道文化の振興事業を企画、実施し、広く発信する。	開催日: 5月26日(土) 会場: 大宮総合車両センター	A: 達成された(85%以上)	来場者数目標3,000人を達成したため ※会場内にテントを設け、啓発リーフレット等の配布でカウントしている。	B: 現状維持	多数の来場があるものの、会場内スペース等の限度もあり、引き続き現在の規模で事業を継続していく。



生涯学習関連事業実施状況

照会時のNo.	No.	第2次計画施策体系				体系番号	関連事業名	事業担当課	①事業の概要等	②平成30年度の事業実績		③平成30年度の目標達成度		④令和元年度の事業の方向性	
		目標	基本方針	方向性	基本施策					事業の内容	達成度	達成度を左のとおりとした理由	方向性	事業の方向性を左のとおりとした理由	
160	165	2 地域づくり・まちづくり Ⅲ つながる	(1) まちづくり学習の推進	③さいたまらしさの活用	3-2-1-3-04	漫画文化の振興	文化振興課(漫画会館)	所蔵する北沢楽天などの資料を様々な場所で展示紹介することで、広く楽天をはじめとする漫画文化を知ってもらおう契機を作る。	講演会: 8/25 漫画資料室の開放: 土日祝日、夏休み期間	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値には達しなかったが、目標数値の80%は超えたため。	B: 現状維持	展示の充実を継続し、楽天にまつわる漫画文化振興を実施するため。		
161	166				3-2-1-3-05	人形文化の振興	岩槻人形博物館開設準備室	・人と人形の歴史を探り、未来へと人形文化を継承する施設として、岩槻人形博物館を整備する。 ・所蔵品を中心とした展覧会の開催、人形文化に関する講演会、講座などを開催することで、人形文化を広く内外に発信する。	展覧会「さいたま市岩槻人形博物館 開設プレ事業 所蔵品『パネル展』 開催日: 平成30年10月4日(木)～10月8日(月) 開催場所: 大宮駅コンコース	A: 達成された(85%以上)	当該展覧会を目標どおり、1回実施したため。	A: 拡大・充実	岩槻人形博物館を令和2年2月22日に開館させ、人形文化を発信する拠点施設である当該博物館において展覧会を実施する。		
162	167				3-2-1-3-06	盆栽文化の振興(再掲)	大宮盆栽美術館	盆栽を中心として、盆器、水石、絵画資料、歴史・民俗資料などの紹介により、盆栽文化をひろく内外に発信する。	・特別展2回、企画展9 11回 ・講座等479回 ・さいたま国際盆栽アカデミー日本人向け・在住外国人向けコース(初級・中級)の開講	A: 達成された(85%以上)	目標数値を85%以上達成したため	A: 拡大・充実	展示内容及び普及活動のさらなる充実を図ると共に、引き続き、来館者数増加に向けた取り組みが必要となるため。		
163	168				3-2-1-3-07	さいたま市けんてーウェブサイト運営業務	経済政策課	本市にある数多くの地域資源について、クイズ形式によりネット上で公開し、市内外に広く発信していくことにより、集客強化を図るとともに、クイズ自体を投稿可能とすることにより、一般ユーザーからの情報の収集と蓄積による本市ブランドイメージの創出を図る。	広報課ブログ「のびのびシティ通信」にサイトPR記事を掲載し、また、本市イベントに関するクイズやブログを開催に合わせて公開する等、利用者拡大を図った。	A: 達成された(85%以上)	目標に対し、85%以上のアクセス数を達成したため。	F: 廃止・休止	アクセス数の大幅増加が見られず、一般ユーザーからのクイズ投稿による情報の蓄積が少ないことから、クイズ形式の情報発信サイトとして一定の役割を果たしたものと考え、事業を廃止した。		
164	169				3-2-1-3-08	見沼田圃の保全・活用・創造事業	見沼田圃政策推進室	誰もがいつでも立ち寄れる見沼田んぼとするため、見沼田んぼの総合的な情報発信や学習・休憩・サロン機能、作品展示等の機能を持たせた「新たな交流の場」を創出する。	平成28年6月に運営を開始した「見沼・さぎ山交流ひろば」では、学習や体験、作品展示など、年間を通じて様々なプログラムを実施しました。また、発展的な事業展開を行うため、サテライト企画の実施方針を決定しました。	A: 達成された(85%以上)	目標どおり、「見沼・さぎ山交流ひろば」についてサテライト企画の実施方針を決定したため。	A: 拡大・充実	「見沼・さぎ山交流ひろば」について、更なる発展的な事業展開を行うため、平成30年度に決定したサテライト企画の実施方針に基づき、令和元年度は運営実験を行う予定であるため。		
165	170				3-2-1-3-09	城下町岩槻歴史散策事業	岩槻区観光経済室	市内外からの観光客を呼び込み、まちの賑わい活性化につなげるため、区内の観光スポットを巡り、料亭等の昼食と伝統産業事業所の土産品を持ち帰ってもらい、岩槻の魅力を堪能してもらう。	区内の史跡、人形店、イベント等を巡るとともに、料亭等での昼食と区内伝統産業事業所等の土産品を持ち帰ってもらうことで、岩槻の魅力を堪能してもらう。全14回開催。 6/8「国指定史跡の真福寺貝塚と横町・林道杉並界隈を歩く」37人 11/28「岩槻古城八景の跡を歩く」38人 1/24「江戸の面影を残す市宿・加倉めぐり」39人 12/4「大宮区民限定城下町岩槻歴史散策」20人 など	A: 達成された(85%以上)	数値目標の90%を達成し、また、前年度実績を上回っていることから左記の達成度とした。	B: 現状維持	新たな申込者は年々増加しているが、受け入れ可能な人数は限られている。ただし、今後、市外からの来訪者をより増加させるため、引き続き魅力ある内容の散策を開催していくとともに、市外への積極的な情報提供を行っていく。		
166	171				3-2-1-3-10	地域資源を活用した図書館事業	図書館	・サッカー、鉄道、盆栽、人形等の地域の歴史・特色に関連したテーマの資料を収集・保存する。 ・地域に関連する団体・機関との連携や協働による事業を行う。	地元プロサッカーチームと連携した、おはなし会や展示会を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値の6回を上回ったため、Aとした。	B: 現状維持	サッカー関連分野のほか、地域で活躍している団体・機関との連携を強化していく必要がある。		
167	172				3-2-2-1-01	地域課題に対応した事業の実施	公民館	自治会や地域で活動する団体等との交流や参加者アンケートを通して地域課題の把握に努め、地域課題をテーマとした事業を実施する。	公民館講座の終了後、参加者に対して講座の内容や講師についてのアンケートを行い、地域的課題、地域への愛着を育むことをテーマとした事業を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
168	173				3-2-2-1-02	地域課題に関する資料の収集・提供	図書館	地域の情報センターとして、都市計画や産業などそれぞれの地域特性により必要とされる資料を収集し、地域の課題解決に役立てる。	市内や近隣で仕事に従事している方や、起業を計画している方などへ支援する資料、パンフレット等の収集を行った。	B: ほぼ達成された(70%以上85%未満)	目標数値には及ばなかったが、概ねビジネス関連資料の収集ができたため。	B: 現状維持	さいたま市図書館電子書籍サービスでもビジネス関連の電子書籍を購入しており、ニーズに合っているため貸出が多い。紙の書籍と電子書籍の棲み分けを考える必要がある。		
169	174				3-2-2-2-01	コミュニティづくり支援事業の推進	生涯学習総合センター・公民館	地域のコミュニティづくりやまちづくりを推進する。	生涯学習総合センター及び公民館において、コミュニティづくり事業を実施した。	A: 達成された(85%以上)	目標数値を達成したため、Aとした。	B: 現状維持	地域のニーズの把握・分析に努め、引き続き事業を実施していくためBとした。		
170	175	3-2-2-2-02	スクールサポートネットワーク推進事業(再掲)	生涯学習振興課	事業の中心的な役割を担う学校地域連携コーディネーターを市立小・中・特別支援学校へ配置するとともに、スクールサポートネットワーク協議会(SSN協議会)を設置し、学校と地域諸団体等との情報の共有化、より多くの幅広い地域住民、団体等が学校と協働して行う地域学校協働活動、学校支援ボランティアによる教育支援活動を行う。	学校地域連携コーディネーターに対する研修会を4回、情報交換及び協議会を5回実施した。また、教育委員会が発行した「スクールサポートネットワーク(地域学校協働本部)ガイドブック」を活用することで、より多くの幅広い地域住民、団体等が学校と協働して行う地域学校協働活動の充実を図った。	A: 達成された(85%以上)	さいたま市学習状況調査における、「保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか」の質問に、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した小学校が98.1%、中学校が91.2%であり、目標の85%以上を達成したため。	A: 拡大・充実	学校と地域の連携・調整や多様な活動の企画・調整等を担う学校地域連携コーディネーターを配置するとともに、より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画したスクールサポートネットワークによる地域学校協働活動を推進するため。					